PROSPEC

余計なノイズも、取れる・録れる!!
デジタルビデオエディター DVEシリーズ

DVE795

取扱説明書

●このたびはプロスペック デジタルビデオエディターをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
●本製品を正しくご使用いただくために、この「取扱説明書」をよくお読みください。
●お読みになったあとは大切に保管してください。

http://www.prospec.co.jp

目次

目次／注意事項／梱包内容／仕様 …… **1～3**

はじめにDVE795を設置しましょう …… **4～5**

各部名称 …… **6～7**

ご使用方法　基本編

- 電源を入れる／電源を切る …… **8～9**
- 接続している再生機器を切り換える …… **10～11**
- D端子入力時の動作 …… **12～13**
- 回路を通した映像・音声を出力する／回路を通さずに映像・音声を出力する …… **14～15**

ご使用方法　応用編

- メニュー機能を使いこなす …… **16**
- オンスクリーン操作方法 …… **16～17**
- カテゴリー**1**：画質補正 …… **18～19**
- カテゴリー**2**：特殊処理 …… **20～21**
- カテゴリー**3**：ワイド信号 …… **22**
- カテゴリー**4**：その他 …… **23**

便利な機能

- オートパワー機能 …… **24～25**
- ヘルプ機能 …… **26**
- リセット機能 …… **27**
- リモコン[セーフモード]ボタンについて …… **27**

接続方法およびご使用方法１　[基本編]

- 再生機器と録画機器をそれぞれ用意して編集する …… **28～29**
- 再生機器の映像を録画機器にダビングする・同時に再生機器の映像を鑑賞する …… **30～31**
- ダビングした映像を鑑賞する …… **32～33**
- 再生機器の映像を鑑賞する …… **34～35**

接続方法およびご使用方法２　[応用編]

- ハイブリッドレコーダー**1**台で編集する …… **36～37**
- DVD映像をハードディスクにダビングする、またはハードディスク内の特定映像をハードディスクにダビングする・同時に再生映像を鑑賞する …… **38～41**
- ダビングした映像を鑑賞する …… **42～43**
- DVD映像を鑑賞する …… **44～45**

接続方法およびご使用方法３　[上級編 1]

- 再生機器**2**台で編集する …… **46～47**

接続方法およびご使用方法４　[上級編 2]

- 録画機器**2**台で同時にダビングする …… **48～49**

付録

- 各入力選択時の出力について …… **50～51**
- 使用中のトラブルと回避方法 …… **52～53**
- Q & A …… **54**
- 使用できるケーブルの種類 …… **55**
- 用語説明 …… **56～57**

お問い合わせ …… 裏面

注意事項

安全のため必ずお守りください

表示の意味は次の通りです。

禁止	禁止行為を表します
注意	守らないと傷害または家屋､家財などの損害に結びつく可能性があります
重要	使用する上で重要な事項を示します

禁止

- ●他人の著作物を無断で編集・録画することは禁止されております。著作権者に無断で編集・録画をおこなった場合、著作権を侵害することになりますので、十分ご留意ください。また、本製品を使用して編集・録画された映像、またはその複製物に関して、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ●本製品は日本国内専用です。絶対に日本国外では使用しないでください。日本国外に持ち出された時点で保証対象外となります。
- ●本機底面に貼付されている**封印シールを剥がさない**でください。剥がすと保証期間に関わらず保証対象外となります。

注意

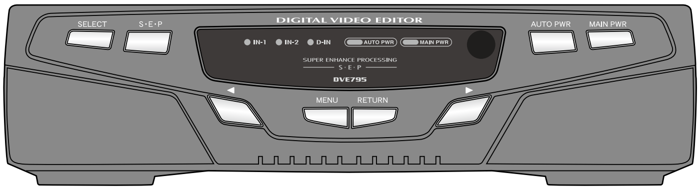
- ●必ず付属の AC アダプターを使用してください。また、本製品は AC100V 以外では絶対に使用しないでください。
- ●本製品は精密機器です。強い衝撃を与えたり、高温・多湿・ホコリの多い場所・風通しの悪い場所・直射日光の当たる場所に置かないでください。故障や火災・感電の原因となります。

重要

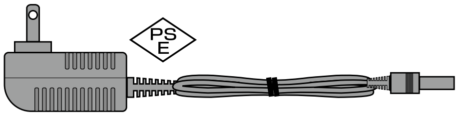
- ●本製品は様々な映像をハイビジョン並みの解像度 (1080i/720p) にアップコンバートすることが可能ですが、この処理によって完全なハイビジョン映像になるわけではありません。また、本製品の超解像処理機能はアップコンバートした映像の輪郭や陰影を最適化することで高精細表示を可能としていますが、映像ソースの品質によってはこの処理を使用することで画質が目視上低下したり、ノイズが目立ったりする場合もあります。
- ●本製品は NTSC 480i/480p/1080i/720p(480p/1080i/720p は D 端子のみ) 規格のビデオ信号に対応しています。
- ●本製品で映像を合成することはできません。また、本製品に録画機能はありません。
- ●ダビングされたソフト･海賊版ソフト･すでにノイズが含まれたソフトなどを編集素材に使用した場合、映像を安定させる機能や画像調整機能などが正常に働かない場合があります。
- ●本製品を使用したダビング時にごく稀に映像が乱れる場合があります。このような場合は再生機器と録画機器を入れ替えてみてください。
- ●ノイズリダクション機能はノイズを低減させる機能ですので、完全にノイズを除去することはできません。また、ノイズリダクション機能を使用しますと処理上解像度が低下します。
- ●使用方法や環境によっては、本製品の処理によって画質が低下する場合があります。
- ●本製品は家庭用に設計されています｡長時間の使用や高精度な画質補正を要する業務用には適しません。
- ●本取扱説明書には本製品が搭載している全ての機能を記載しています。よって本取扱説明書に記載されている機能以外の機能は一切搭載していません。また、本取扱説明書に記載されている使用方法以外の使用は一切できません。
- ●本体が多少熱を持つ場合がありますが故障ではありません。
- ●検査・修理をご依頼の際は、必ず必要事項が全て記入された保証書を添えてお送りください。保証書が無い場合、保証期間内であっても検査・修理・その他の費用は全て有料となります。
- ●本製品の超解像処理機能や画質補正機能等と、使用する再生機器や録画機器及びテレビの超解像処理機能や画質補正機能等を併用した場合、本製品の機能の効果が分かりにくかったり画質が目視上低下したりする場合があります。

梱包内容

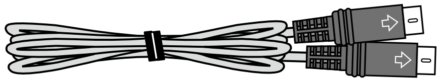
■ DVE795 本体 × 1



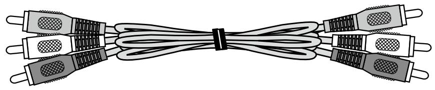
■ AC アダプター × 1



■ S 端子ケーブル × 1

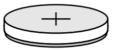


■ピン端子ケーブル × 1

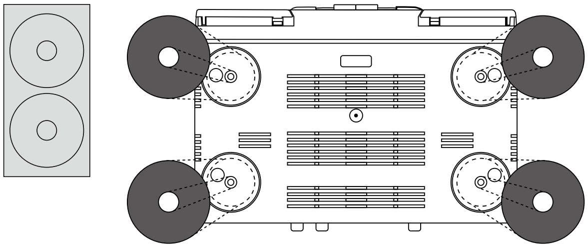


■リモコン × 1

■リモコン用コイン型リチウム電池　× 1（CR2032）



■滑り止めパッド（2 個 1 組）× 2



■取扱説明書（本書× 1 冊／別紙× 1 枚）
■保証書／ユーザー登録保証カード

仕様

本体仕様

■消費電力：5W 以下
■定格入力電圧：DC12V
■電源端子：AC アダプター用ジャック
■ボディーカラー：ピアノブラック
■スイッチ部：クロムメッキ
■映像入力：S 端子× 2 系統 /RCA ピン端子× 2 系統 /D 端子× 1 系統
■映像出力：S 端子× 2 系統 /RCA ピン端子× 2 系統 /D 端子× 1 系統
■音声入力：RCA ステレオ音声端子 (L-R) × 2 系統
■音声出力：RCA ステレオ音声端子 (L-R) × 2 系統
■重　　量：530g
■許容動作温度：5 ～ 35℃
■本体材質：ABS 樹脂
■本体寸法：
W219.5mm × D155mm × H59mm

ACアダプター仕様

■入力：AC100V　50/60Hz
■出力：DC12V　1500mA
■プラグ：センターマイナス

はじめにDVE795を設置しましょう

再生機器と録画機器それぞれを用意できる場合は 28 ページへ

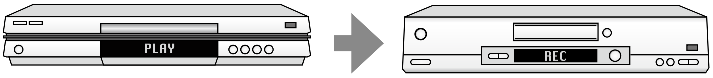
再生機器

録画機器

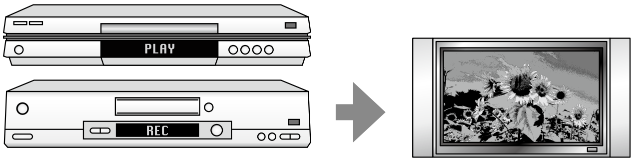
推奨する編集方法です。

設置したら使用してみましょう

再生機器と録画機器をそれぞれ使用する場合

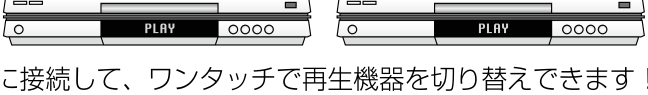


●再生機器で再生した映像をダビングしたいときは **30** ページへ

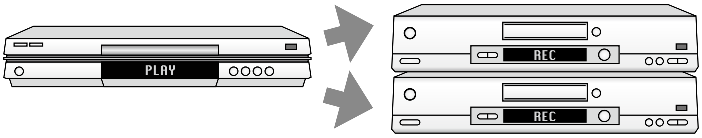


●ダビングした録画機器内の映像を鑑賞したいときは **32** ページへ
●再生機器で再生した映像を鑑賞したいときは **34** ページへ

もっと便利に使いこなしたいときは
(再生機器と録画機器それぞれを用意できる場合に限ります)

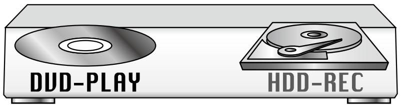


●再生機器を 2 台同時に接続して、ワンタッチで再生機器を切り替えできます！
46 ページへ



●録画機器を 2 台同時に接続して、再生機器で再生した映像を録画機器 2 台で同時録画できます！
48 ページへ

ハイブリッドレコーダー 1 台で編集する場合は 36 ページへ



ハイブリッドレコーダー

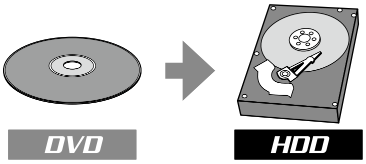
⚠ ハイブリッドレコーダー（DVD+ハードディスク）1 台で編集する方法は特殊な使用方法です。

機種によっては説明どおりに動作しません。

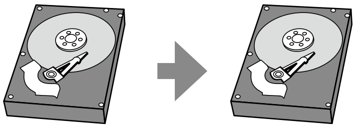
ダビングした映像の先頭に、ハウリングによって乱れた映像が必ず入ります。

設置したら使用してみましょう

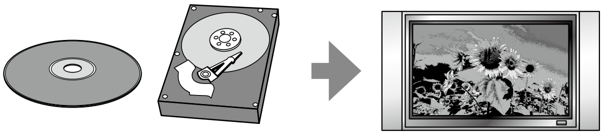
ハイブリッドレコーダー 1 台で編集する場合



● DVD 映像をハードディスクにダビングしたいときは **38** ページへ



●ハードディスク内の映像を同じハードディスク内にダビングしたいときは **38** ページへ



●ダビングしたハードディスク内の映像を鑑賞したいときは **42** ページへ

●再生した DVD 映像を鑑賞したいときは **44** ページへ

DVE795 を完全にマスターしたいときは

●操作方法に関する詳細については **8** ページへ

●接続に関する詳細については **50** ページへ

各部名称

本体正面

オートパワーランプ
オートパワー機能ON時に点灯

入力選択ランプ
選択中の入力系統を表示

S・E・P［超解像］スイッチ
超解像処理機能をOFF/弱/中/強に切り換え

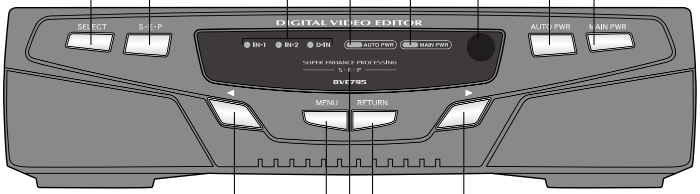
SELECT［セレクト］スイッチ
入力系統を切り換え

パワーランプ
電源ON時は緑、OFF時(ACアダプター接続時)は赤に点灯

リモコン受光部

AUTO PWR［オートパワー］スイッチ
押すごとにオートパワー機能をON/OFF

MAIN PWR［電源］スイッチ
電源をON/OFF



◀［－(マイナス)アジャスト］スイッチ
各種調整値をマイナス方向へ調整

MENU［メニュー］スイッチ
オンスクリーンメニューを表示

▶［＋(プラス)アジャスト］スイッチ
各種調整値をプラス方向へ調整

RETURN［リターン］スイッチ
戻る操作

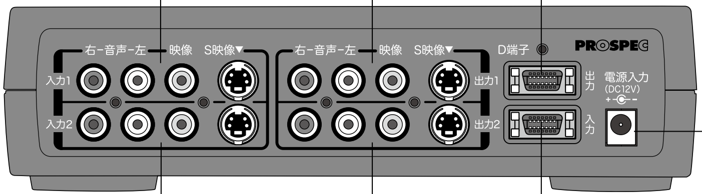
S・E・Pランプ
超解像処理機能ON(弱/中/強)中に点灯

本体背面

SD出力1
ピン端子とS端子

SD入力1
ピン端子とS端子

D端子出力



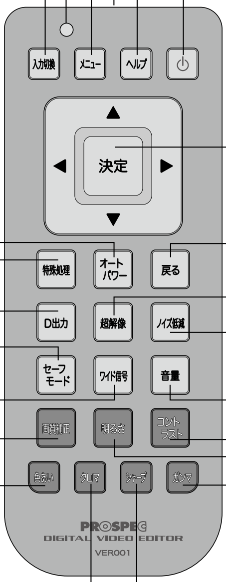
電源入力

SD入力2
ピン端子とS端子

D端子入力

SD出力2
ピン端子とS端子

リモコン



リモコン送信部

メニューボタン
オンスクリーンメニューを表示

LED
各ボタンを押すと点滅

入力切換ボタン
入力系統を切り換え

オートパワーボタン
押すごとにオートパワー機能ON/OFF

特殊処理ボタン
特殊処理メニューを表示

D出力ボタン
映像出力設定項目を表示

セーフモードボタン
強制的にSD出力に切り換え

ワイド信号ボタン
ワイド信号設定項目を表示

画質補正ボタン
画質補正メニューを表示

色あいボタン
色あい調整項目を表示

クロマボタン
クロマ調整項目を表示

ヘルプボタン
オンスクリーンで各項目の説明を表示

電源ボタン
電源をON/OFF

決定ボタン、方向ボタン
オンスクリーンを操作

戻るボタン
戻る操作

超解像ボタン
超解像処理機能をOFF/弱/中/強に切り換え

ノイズ低減ボタン
ノイズ低減設定項目を表示

音量ボタン
音量調整項目を表示

コントラストボタン
コントラスト調整項目を表示

明るさボタン
明るさ調整項目を表示

ガンマボタン
ガンマ調整項目を表示

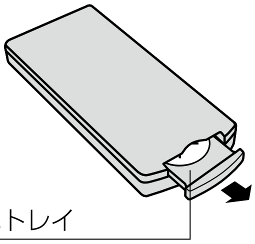
シャープボタン
シャープネス調整項目を表示

⚠ リモコン使用時は、送信部を本体リモコン受光部へ向けてください。

リモコンの電池交換方法

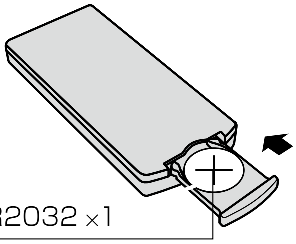
コイン型リチウム電池（CR2032）を 1 個使用
※誤ってお子様などが飲み込んでしまわないよう、電池のお取り扱いには十分ご注意ください。

1. リモコン裏面の電池トレイを引き出します。



電池トレイ

2. 電池の⊕⊖を正しく入れ、電池トレイをしっかり押し込み元に戻します。

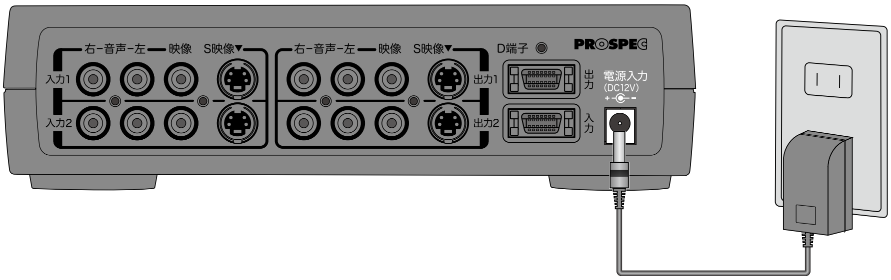


CR2032 ×1

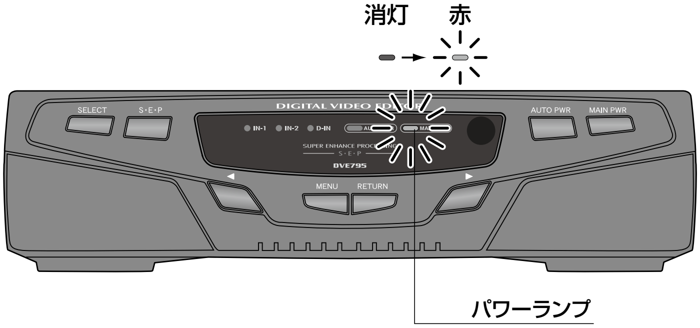
ご使用方法［基本編］

電源を入れる

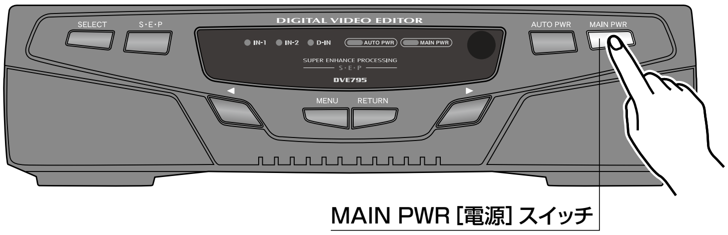
1. ACアダプターを接続する。

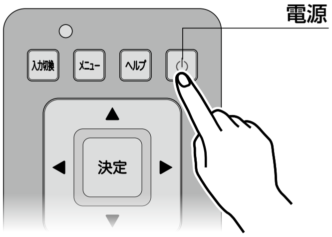


2. パワーランプが赤色に点灯する。

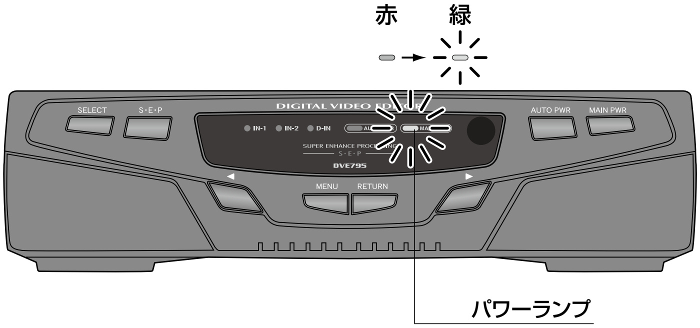


3. MAIN PWR［電源］スイッチ（リモコンの場合は 電源ボタン）を押す。





4. パワーランプが赤から緑に変わり、電源が入る。

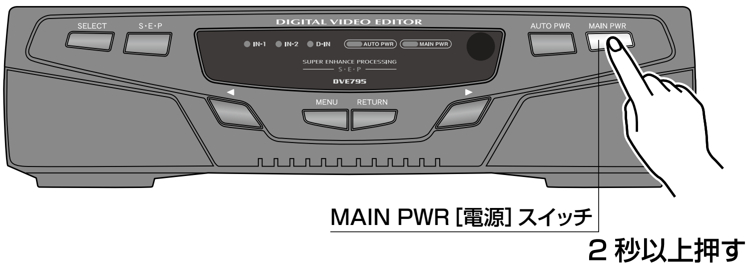


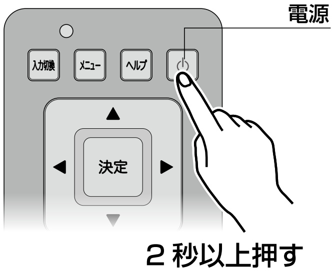
ONE POINT

- パワーランプが赤色に点灯すると電源OFF、緑色に点灯すると電源ONとなります。パワーランプが消灯しているときはACアダプターが接続されていません。
- 電源が入っているときに万が一停電しても、停電復旧後自動的に電源が入ります（パワーガード機能）。

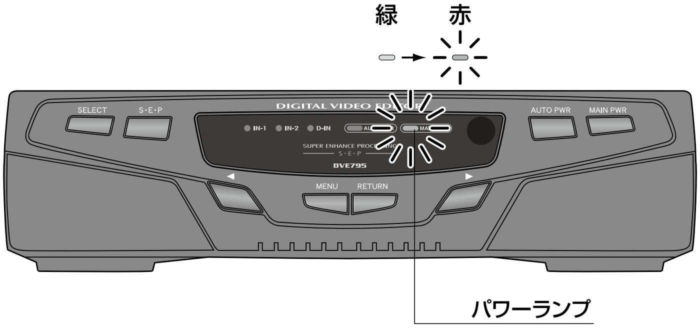
電源を切る

1. MAIN PWR MAIN PWR [電源] スイッチ（リモコンの場合は 電源ボタン）を 2 秒以上押し続ける。





2. パワーランプが緑から赤に変わり、電源が切れる。



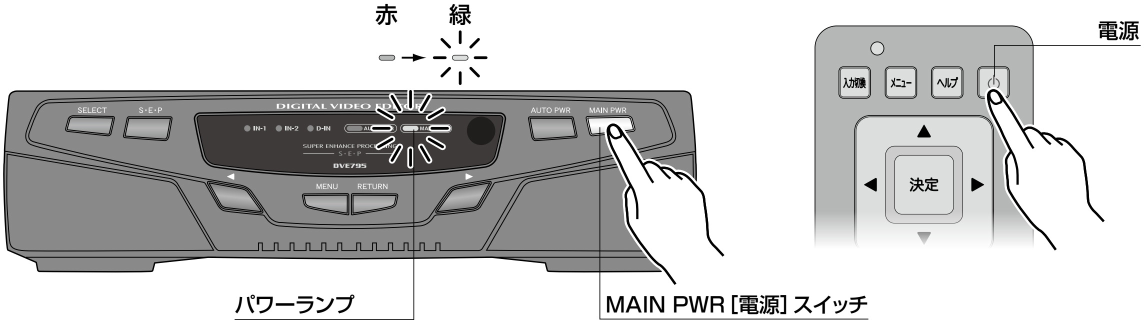
ONE POINT

- MAIN PWR[電源]スイッチを 2 秒以上押し続けないと電源は切れません。
- 電源を切ると、入力した映像及び音声がそのまま出力されます。（**14**ページ「回路を通さずに映像・音声を出力する」参照）
- 電源を切ったり ACアダプターを外したりしても、設定値は記憶されています（メモリーガード機能）。

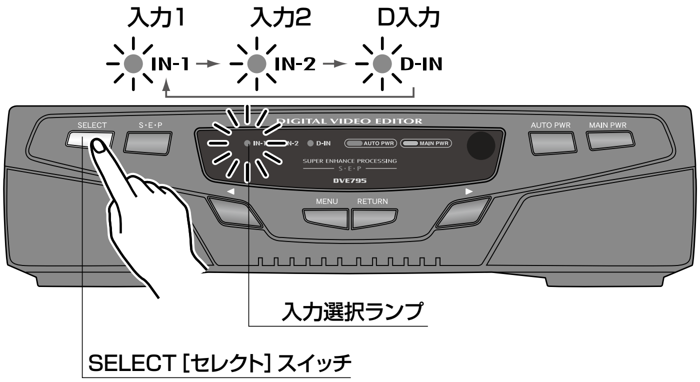
ご使用方法［基本編］

接続している再生機器を切り換える

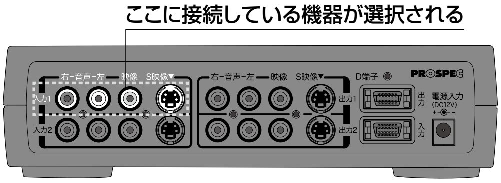
1. 電源を入れる



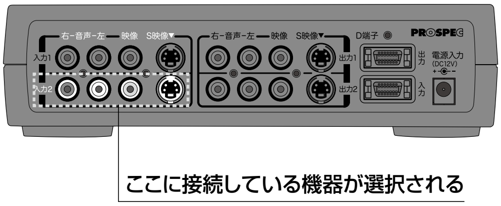
2. SELECT SELECT［セレクト］スイッチを押すごとに入力選択ランプが切り換わる



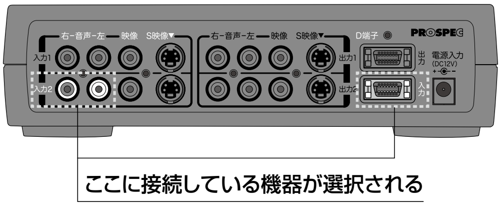
● IN-1 選択時



● IN-2 選択時



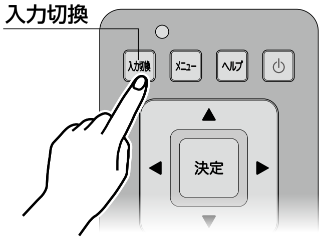
● D-IN 選択時



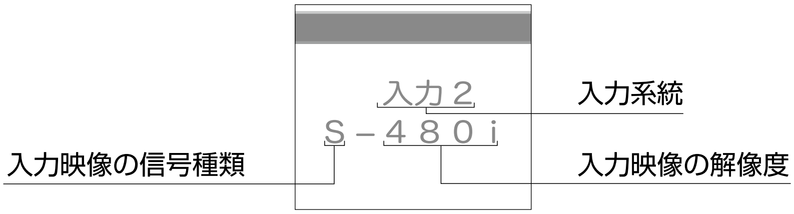
リモコンでの入力切り換え

リモコンで入力切り換えをおこなうと、画面上部中央に選択した入力系統（入力 1/入力 2/D入力のいずれか）及び入力映像の信号・入力映像の解像度が表示されます（本体スイッチで入力切り換えをおこなった場合はこの表示をおこないません）。

リモコンでの操作



例：S 端子で入力 2 へ接続した機器を選択した場合

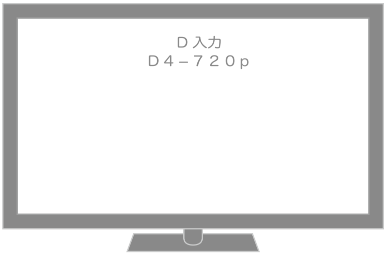


- ●S…S 端子ケーブルで映像を入力している場合
- ●コンポジット…ピン端子ケーブルで映像を入力している場合
- ●D1/D2/D3/D4（いずれか）…D 端子ケーブルで映像を入力している場合

表示例

入力 1 に
S 端子ケーブルで映像を入力

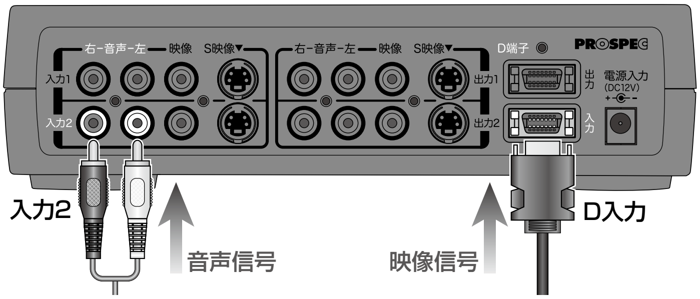
入力 2 に
ピン端子ケーブルで映像を入力



D 端子ケーブルで D4 映像を入力

D 端子入力時の動作

D-IN(D 端子入力) 選択時の音声入力は、入力 2 の音声端子が選択されます。



D-IN(D 端子入力) を選択した場合、入力映像に対する映像出力可能な出力端子は下表のように限定されますのでご注意ください。

		入力映像				
		D1(480i)	D2(480p)	D3(1080i)	D4(720p)	D5(1080p)
出力端子	D 端子	○(SD/D2/D3/D4)	○(D2/D3/D4)	○(D3)	○(D3/D4)	×
	S 端子	○(SD)	×	×	×	×
	ピン端子	○(SD)	×	×	×	×

○＝出力可能　×＝出力不可能　SD＝480i

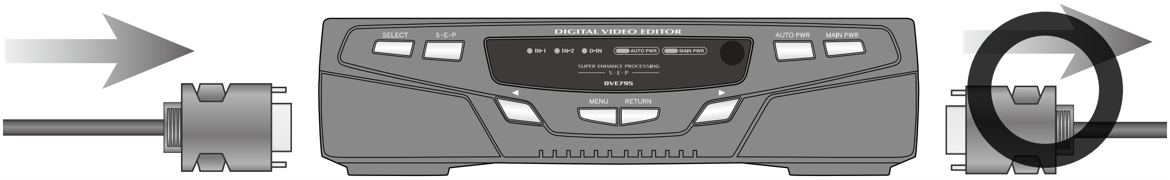
ONE POINT

●表内( ) は設定項目「映像出力」で選択可能です。詳しくは**16**ページ「メニュー機能を使いこなす」をご参照ください。

●( ) 以外または×の組み合わせを選択すると映像が出力されません。万が一( ) 以外または×の組み合わせを選択して画面に何も映らなくなった場合はリモコンの「セーフモード」ボタンを押してください。「映像出力」設定が「SD」に切り替わります。詳しくは**27**ページ「リモコン：セーフモードボタンについて」をご参照ください。

例 1：

入力映像：D1　　映像出力設定：D3　　出力端子：D 端子

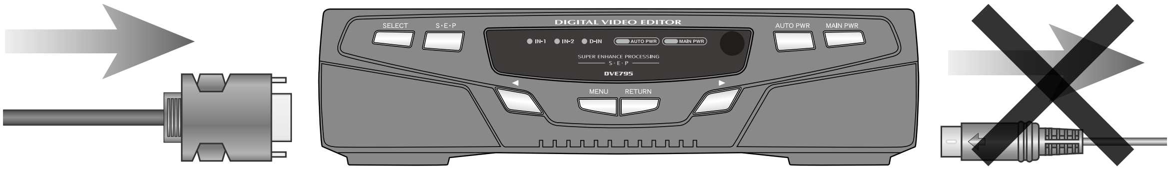


○出力可能（例 1）

入力したD1(480i)映像をD3(1080i)映像にアップコンバートして出力します。

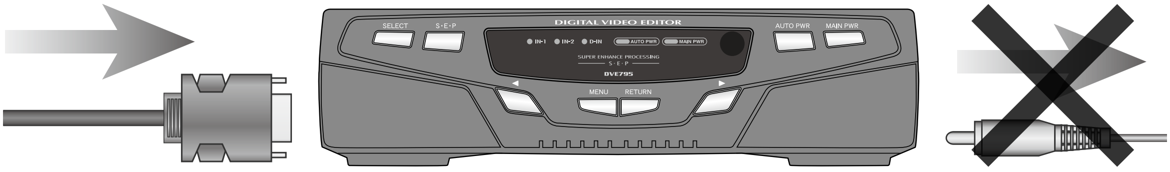
例 2：

入力映像：D3　　映像出力設定：SD　　出力端子：S 端子



例 3：

入力映像：D4　　映像出力設定：SD　　出力端子：ピン端子



×出力不可能（例 2、例 3）

本機はダウンコンバート（入力した映像の解像度を下げて出力）することはできません。よって入力したD3（1080i）映像やD4（720p）映像をS端子やピン端子で出力することはできません。

※入力したD2（480p）をS端子またはピン端子（480i）で出力することも不可能。

□**参考：ピン端子を通る映像=480i　S端子を通る映像=480i**

IN-1 またはIN-2 を選択した場合、下表のように全ての出力端子から映像出力が可能です。

		入力端子	
		S端子	ピン端子
出力端子	D端子	○(SD/D2/D3/D4)	○(SD/D2/D3/D4)
	S端子	○(SD)	○(SD)
	ピン端子	○(SD)	○(SD)

○＝出力可能　×＝出力不可能

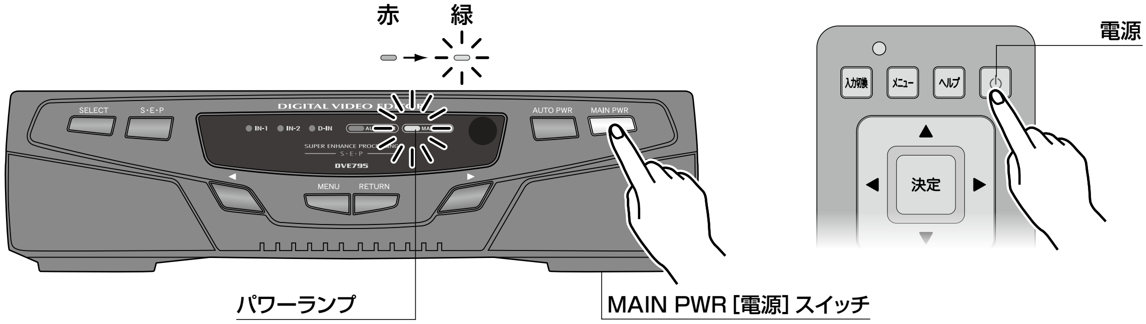
□**参考：** SD=480i
D2=480p
D3=1080i
D4=720p

ONE POINT

●表内( )は設定項目「映像出力」で選択可能です。詳しくは**16**ページ「メニュー機能を使いこなす」をご参照ください。

回路を通した映像・音声を出力する

1. 電源を入れる



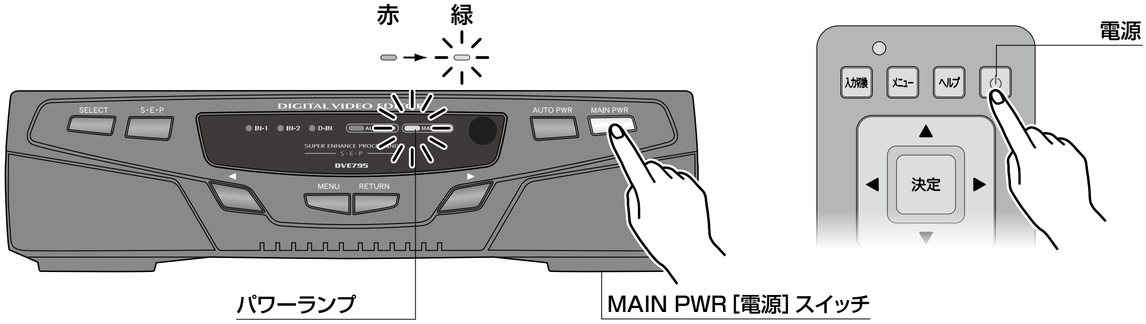
2. 電源を入れると、入力した映像にTBC効果及び各種画質補正設定値が反映されて出力される。
また、音声も音量調整設定が反映されて出力される。

ONE POINT

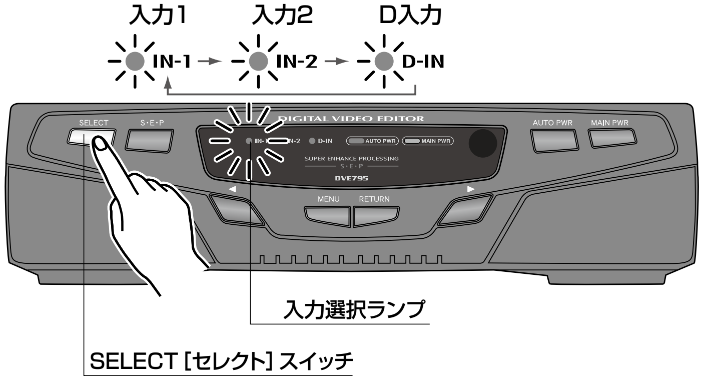
- ●接続している複数の再生機器を切り替えるときや各種設定をおこなうときも電源を入れる必要があります。
- ●各種設定については**16**ページ以降をご参照ください。

回路を通さずに映像・音声を出力する

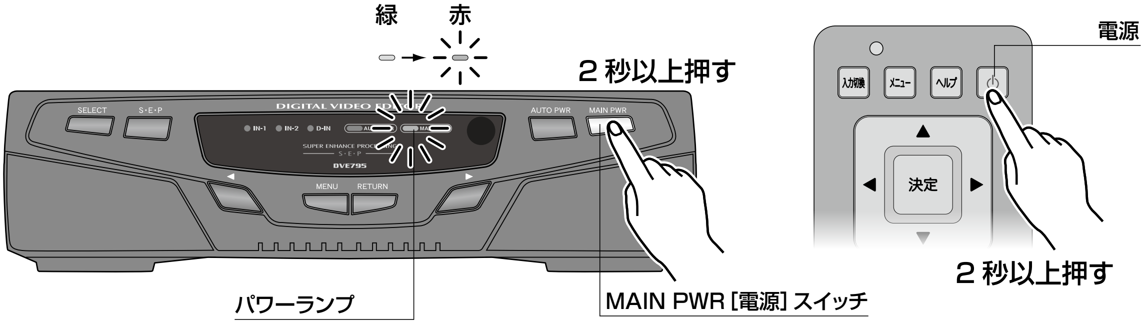
1. 電源を入れる



2. 接続している再生機器を選ぶ



3. 電源を切る



4. 電源を切る前に選んだ再生機器の映像・音声がそのまま出力される。

ONE POINT

●入力 1 または入力 2 に接続している再生機器を選んだ場合は、出力 1・出力 2 の両方から同時に映像及び音声が出力されます。

●D 端子入力に接続している再生機器を選んだ場合は、入力した映像の解像度(480i/480p/1080i/720p のいずれか)で D端子出力からのみ出力されます(音声は入力 2 に入力されている音声のみ出力 1･出力 2 の両方から同時に出力されます)。

●電源を切ると再生機器の切り替えや各種設定はおこなえません。

⚠ 映像を入力しているケーブルと同じケーブルからのみ映像を出力できます

		入力端子		
		ピン端子	S端子	D端子
出力端子	ピン端子	○	×	×
	S端子	×	○	×
	D端子	×	×	○

○＝出力可能　×＝出力不可能

ご使用方法［基本編］
ご使用方法［応用編］
便利な機能
接続・使用方法1［基本編］
接続・使用方法2［応用編］
付録

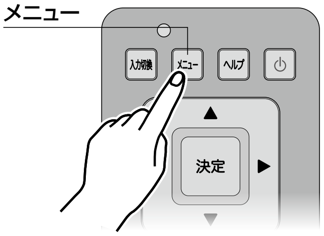
メニュー機能を使いこなす

各種映像処理及び設定は、オンスクリーン上(画面上のメニュー表示)でおこないます。
各入力系統(IN-1/IN-2/D-IN)ごとに独立して設定することができ、設定した値は電源を切ったりACアダプターを外したりしても記憶されます(メモリーガード機能)。

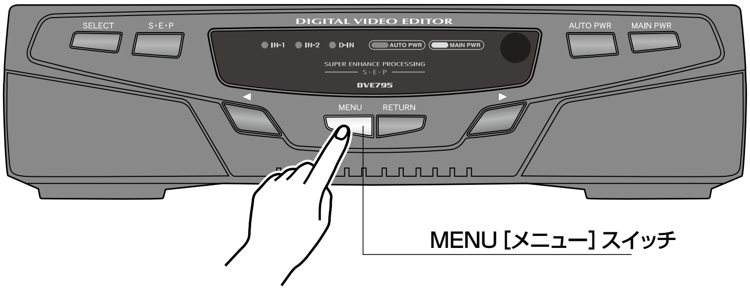
オンスクリーン操作方法

1. [メニュー] ボタン(本体の場合は MENU [メニュー] スイッチ)を押す

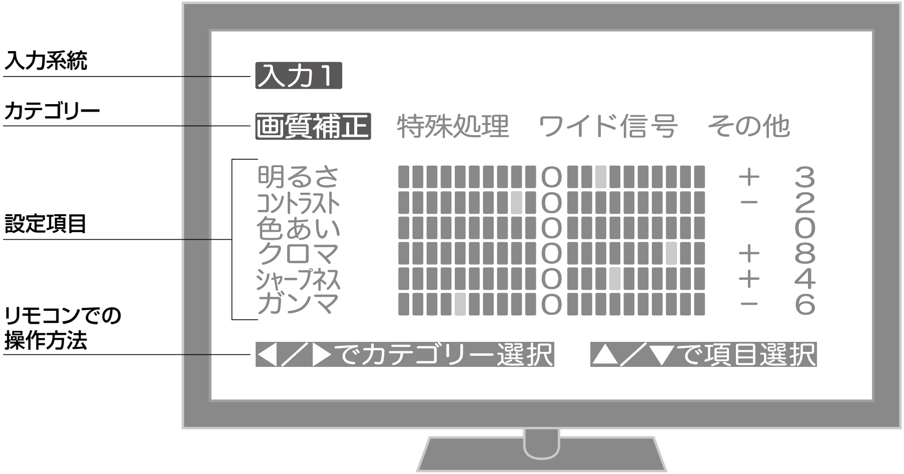
リモコンでの操作



本体での操作



オンスクリーンメニュー詳細



ONE POINT

- ●オンスクリーン表示中はリモコンでの操作方法が画面下部に表示されます。
- ●設定項目選択中にリモコンの [戻る] ボタンを押すと、カテゴリー選択表示に戻ります。
- ●設定項目の最下部選択中にリモコンの [▼] ボタンを押すと、カテゴリー選択表示になります。
- ●カテゴリー選択中にリモコンの [戻る] ボタンを押すと、オンスクリーン表示が消えます。
- ●オンスクリーン表示中に何も操作せずに 20 秒経過すると、自動的にオンスクリーン表示が消えます。
- ●オンスクリーン表示は、出力解像度により大きさや各文字類の縦横比率が変わります。

2. [◀] ボタンまたは [▶] ボタン（本体の場合は [◀] スイッチまたは [▶] スイッチ）を押してカテゴリーを選択する

画質補正

入力１
画質補正　特殊処理　ワイド信号　その他
明るさ　＋３
コントラスト　－２
色あい　０
クロマ　＋８
シャープネス　＋４
ガンマ　－６
◀／▶でカテゴリー選択　▲／▼で項目選択

特殊処理

入力１
画質補正　特殊処理　ワイド信号　その他
映像出力　SD ／ D2 ／ D3 ／ D4　D4
超解像　OFF　弱　中　強　OFF
ノイズ低減　OFF ／ ON　OFF
AGC　OFF ／ ON　OFF
コンポジット－４８０ｉ
◀／▶でカテゴリー選択　▲／▼で項目選択

ワイド信号

入力１
画質補正　特殊処理　ワイド信号　その他
オート出力　OFF ／ ON　ON
オール出力　OFF ／ ON　OFF
削除　OFF ／ ON　OFF
入力中ワイド信号：スクイーズ
◀／▶でカテゴリー選択　▲／▼で項目選択

その他

入力１
画質補正　特殊処理　ワイド信号　その他
音量　＋３
ブルーバック　OFF ／ ON　ON
カラーバー　OFF ／ ON　OFF
◀／▶でカテゴリー選択　▲／▼で項目選択

3. [▼] ボタンまたは [▲] ボタン（本体の場合は MENU ［メニュー］スイッチ）を押して設定項目を選択する

画質補正　明るさ調整

入力１
画質補正　特殊処理　ワイド信号　その他
明るさ　＋３
コントラスト　－２
色あい　０
クロマ　＋８
シャープネス　＋４
ガンマ　－６
▲／▼で項目選択　◀／▶で設定変更　ヘルプ

4. [◀] ボタンまたは [▶] ボタンを押して設定値を変更する

画質補正　明るさ調整

入力１
画質補正　特殊処理　ワイド信号　その他
明るさ　＋１
コントラスト　－２
色あい　０
クロマ　＋８
シャープネス　＋４
ガンマ　－６
▲／▼で項目選択　◀／▶で設定変更　ヘルプ

その他の操作方法

リモコンには各項目をダイレクトに選択できるボタンがあります。上記操作をおこなわなくても、設定変更したい項目に対応したボタンを押せば、その項目が選択されたオンスクリーン表示をおこないます。

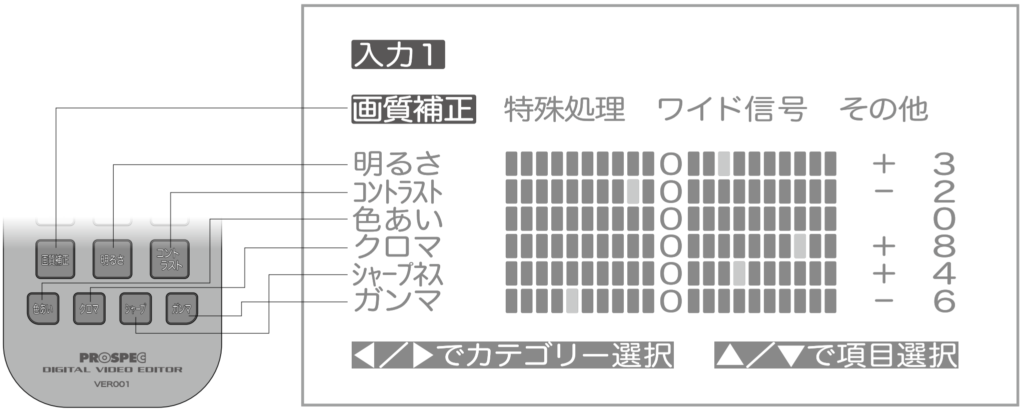
例：明るさ調整

明るさ

入力１
画質補正　特殊処理　ワイド信号　その他
明るさ　＋３
コントラスト　－２
色あい　０
クロマ　＋８
シャープネス　＋４
ガンマ　－６
▲／▼で項目選択　◀／▶で設定変更　ヘルプ

オンスクリーンメニュー　カテゴリー１：画質補正

カテゴリー１：画質補正メニュー



⚠ Ｄ端子ケーブルを使用してＤ1 映像を入力、またはＳ端子ケーブルを使用して映像を入力、またはピン端子ケーブルを使用して映像を入力した場合と、Ｄ端子ケーブルを使用してD2/D3/D4 のいずれかの映像を入力した場合とでは、各項目の設定変更後の画質が多少異なる場合があります。

明るさ

初 期 値　0　　**調整範囲**　-10 ～ 0 ～ +10

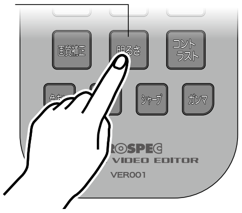
効　果　入力した映像の輝度を調整して出力します。

使用用途　暗すぎるまたは明るすぎる映像を最適な明るさに調整できます。

調整方法　プラス（+）側に調整すると全体的に明るくなっていきます。
マイナス（−）側に調整すると全体的に暗くなっていきます。

リモコンでの操作

明るさ



コントラスト

初 期 値　0　　**調整範囲**　-10 ～ 0 ～ +10

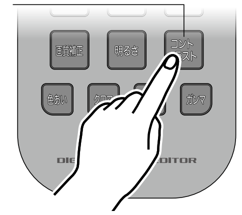
効　果　入力した映像の明暗比を調整して出力します。

使用用途　暗い部分と明るい部分の差が大きくまぶしく見える場合や、暗い部分と明るい部分の境目が分かりにくい場合に見やすい映像に調整できます。

調整方法　プラス（+）側に調整すると明るい部分がより明るくなっていきます。
マイナス（−）側に調整すると明るい部分が暗くなっていきます。

リモコンでの操作

コントラスト

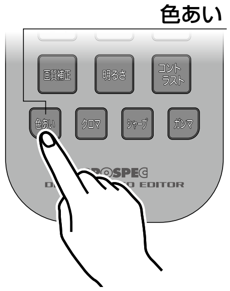


色あい

初期値 0　調整範囲 -10～0～+10

効果	入力した映像の色バランスを調整して出力します。
使用用途	人肌の色などが不自然な場合、自然な色に調整できます。
調整方法	プラス（+）側に調整すると全体的に緑色に近づいていきます。 マイナス（−）側に調整すると全体的に赤色に近づいていきます。

リモコンでの操作

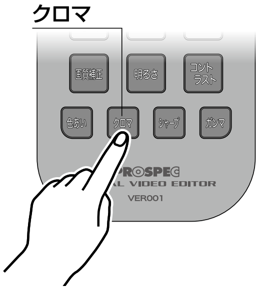


クロマ

初期値 0　調整範囲 -10～0～+10

効果	入力した映像の色の濃さを調整して出力します。
使用用途	色あせた古いビデオテープの映像や色の濃すぎる映像の色濃度を調整できます。
調整方法	プラス（+）側に調整すると全体的に色が濃くなっていきます。 マイナス（−）側に調整すると全体的に色が薄くなるとともに白黒映像に近づいていきます。

リモコンでの操作

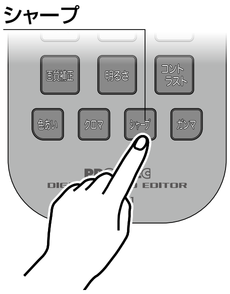


シャープネス

初期値 0　調整範囲 -10～0～+10

効果	入力した映像にシャープさを加えて出力します。
使用用途	映像が全体的にぼやけていると感じた場合に境目がはっきりとした見やすい映像に設定できます。
調整方法	プラス（+）側に調整すると輪郭を強調した映像になります。主にVHS（アナログメディア）の映像を編集するときに設定します。 マイナス（−）側に調整すると輪郭を強調しない映像になります。主にDVD（デジタルメディア）の映像を編集するときに設定します。

リモコンでの操作



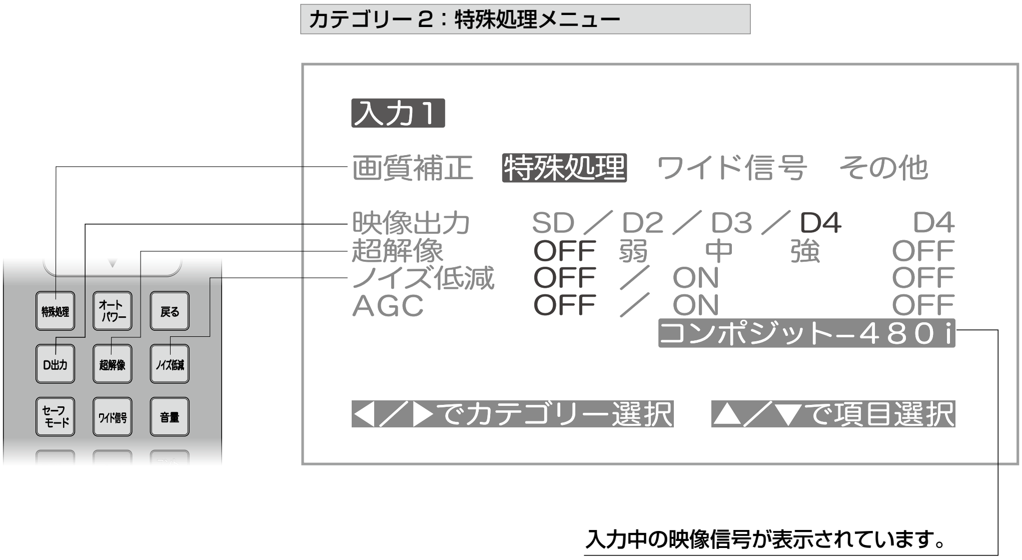
ガンマ

初期値 0　調整範囲 -10～0～+10

効果	映像をディスプレイに合った、より自然な画質に調整できます。
使用用途	テレビに映る映像の黒ツブレや白トビが気になる場合に使用します。
調整方法	プラス（+）側に調整すると白トビが改善されていきます。同時に暗くなっていきます。 マイナス（−）側に調整すると黒ツブレが改善されていきます。同時に明るくなっていきます。

リモコンでの操作

オンスクリーンメニュー　カテゴリー２：特殊処理



映像出力

初 期 値　SD　**調整範囲**　SD ／ D2 ／ D3 ／ D4

効　　果　入力した映像を高解像度に変換して出力できます。

使用用途　DVDビデオなどの低い解像度の映像を高解像度にアップコンバートできます。

調整方法　SD：480i　D2：480p　D3：1080i　D4：720p

リモコンでの操作

ONE POINT

●映像出力設定と映像出力可能な出力端子は以下の表のとおりです。誤って映像出力不可能な設定をおこないテレビに映像が映らなくなった場合はリモコンの「セーフモード」ボタンを押してください。映像出力設定が「SD」に切り替わります。詳しくは**27**ページ「リモコン：セーフモードボタンについて」をご参照ください。

		映像出力設定			
		SD	D2	D3	D4
出力端子	D端子	○(480i)	○(480p)	○(1080i)	○(720p)
	S端子	○	×	×	×
	ピン端子	○	×	×	×

○＝出力可能　( )は出力解像度　×＝出力不可能

●「映像出力」をD2/D3/D4 のいずれかに設定すると、カラーバー出力ができなくなります。

超解像

初 期 値 OFF　調整範囲 OFF ／弱／中／強

効　果　入力した映像に超解像処理を加えて出力します。

使用用途　映像出力設定でアップコンバートした際、映像がぼやける場合に使用します。

調整方法　OFF : 超解像処理を加えません。
弱／中／強 : 超解像処理の強さを 3 段階選べます。

リモコンでの操作

⚠ 押すと超解像設定項目が選択されると同時に設定が切り換わります。

ONE POINT

- ●超解像設定は本体「S・E・P」スイッチでも設定できます。「S・E・P」スイッチを押すごとにOFF→弱→中→強→OFFに切り替わり、弱/中/強に設定した場合のみ本体「S・E・P」ランプが点灯します（オンスクリーン表示はおこないません）。
- ●動きの激しい動画などで効果の差が分かりにくい場合は、一時的に静止画にするなどしてから設定してください。
- ●超解像処理は全ての出力映像に対して加えることができますが、入力映像と出力映像が同じ解像度の場合などは輪郭が強調されすぎて見にくくなってしまう場合があります。

ノイズ低減

初 期 値 OFF　調整範囲 ON ／ OFF

効　果　主にVHSや 8mmビデオなどアナログ映像に含まれている、ブロックノイズやざらつきノイズを低減します。

使用用途　アナログ映像の編集時にノイズが目立つ場合に使用します。

調整方法　ONに設定するとノイズ低減処理をおこなってから映像を出力します。OFFに設定するとノイズ低減処理をおこなわずにそのまま出力します。

⚠ D-IN（D入力）選択中はノイズ低減を設定できません。

リモコンでの操作

AGC

初 期 値 OFF　調整範囲 ON ／ OFF

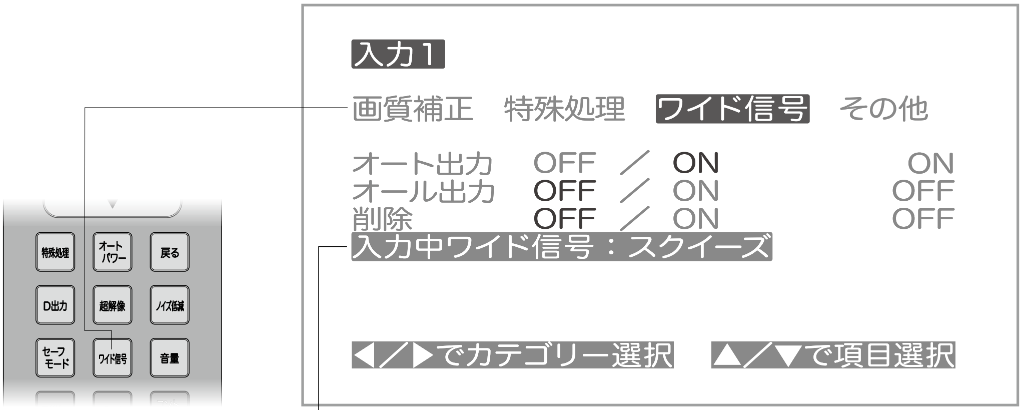
効　果　入力した映像信号を最適値に変換して出力します。

使用用途　入力した映像が明るすぎる、または暗すぎると感じた場合に使用します。

調整方法　ONに設定すると映像信号を自動調整します。OFFに設定すると自動調整はおこないません。

オンスクリーンメニュー　カテゴリー３：ワイド信号

カテゴリー３：ワイド信号メニュー



入力中のワイド信号が表示されています。

オート出力

効　果 いずれかのワイド信号を入力すると、S1・S2・ID-1・D端子専用ワイド信号がそれぞれの端子から出力されます。

使用用途 通常はこの設定を選びます。

オール出力

効　果 入力にかかわらず、S1・S2・ID-1・D端子専用ワイド信号がそれぞれの端子から出力されます。

使用用途 強制的にワイド信号を出力したい場合にこの設定を選びます。

削除

効　果 入力にかかわらず、ワイド信号を一切出力しません。

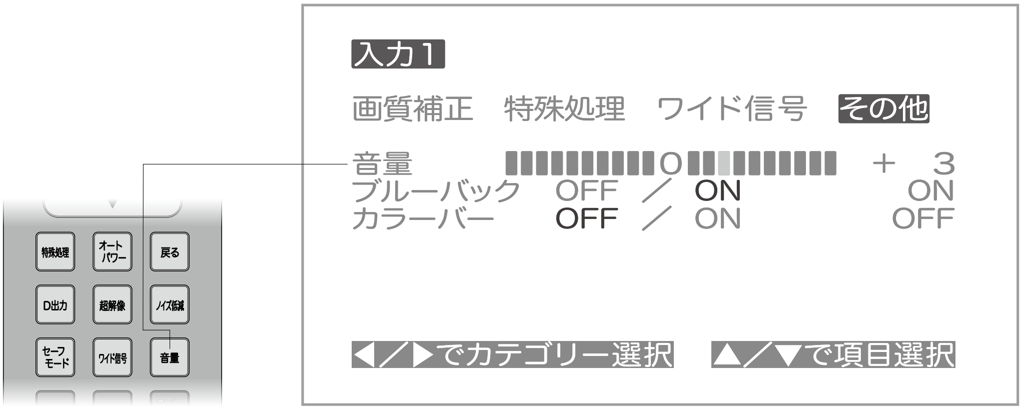
使用用途 強制的にワイド信号を削除したい場合にこの設定を選びます。

ONE POINT

- ワイド信号カテゴリーの初期値は「オート出力ON」です。
- この項目はいずれか１項目のみONにできます。OFF設定をONにすると、他のON設定が自動的にOFFになります。
- このカテゴリー表示内では、入力中のワイド信号を表示する機能があります。

オンスクリーンメニュー　カテゴリー４：その他

カテゴリー４：その他メニュー



リモコンでの操作

音量

初 期 値　0　　調整範囲　-10 ～ 0 ～ +10

効　果　入力した音声を増減します。

使用用途　入力した音声が大きすぎる、または小さすぎると感じた場合に使用します。

調整方法　設定値が大きくなると音量が大きく、設定値が小さくなると音量が小さくなります。（0に設定すると入力した音量で出力されます）

ブルーバック

初 期 値　ON　　調整範囲　ON ／ OFF

効　果　映像信号が入力されないときに、ブルーバック信号を出力するかブラックバックを出力するかを選択できます。

使用用途　映像信号が入力されないときの画面色をお好みで選びます。

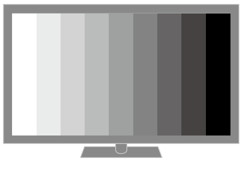
調整方法　ON：ブルーバック信号を出力します。
OFF：ブラックバック信号を出力します。

カラーバー

初 期 値　OFF　　調整範囲　ON ／ OFF

効　果　カラーバー信号を出力します。

使用用途　モニターの色調整の際に表示させて使用します。録画するときに最初の 5 秒間ほど録画しておくと、モニターを変えたときに色調整の基準にできます。



調整方法　ON：カラーバー信号を出力します。
OFF：カラーバー信号を出力しません。

ONE POINT

- 「映像出力」をD2/D3/D4 のいずれかに設定すると、カラーバー出力ができなくなります。
- カラーバー出力中に他のスイッチを押したり電源を切ったりすると、自動的にカラーバー出力がOFFになります。

オートパワー機能

あらかじめ選択しておいた入力系統に映像が入力されると自動的に本機の電源が入り、映像が入力されなくなると自動的に電源が切れる機能です。

効　果 映像信号を入力すると自動的に電源が入り、映像信号が入力されなくなると自動的に電源が切れます。（条件：ACアダプター接続中）

使用用途 主にレコーダーのオートREC機能※使用時に使用します。

調整方法 ONに設定すると映像信号を入力したと同時に自動的に電源が入り、映像信号が入力されなくなると自動的に電源が切れます。OFFに設定すると映像信号を入力しても自動的に電源は入りません。

※映像信号を入力すると自動的に録画を開始するレコーダーの機能

	映像信号入力中に電源スイッチを押す（電源ON中は長押し／電源OFF中は短押し）	映像信号未入力中に電源スイッチを押す（電源ON中は長押し／電源OFF中は短押し）	映像信号を入力する	映像信号を遮断する
オートパワーランプ点灯中の電源ON中	操作無効 電源ONのまま	電源がOFFになる	変化なし	電源がOFFになる
オートパワーランプ点灯中の電源OFF中	―	電源がONになる	電源がONになる	―
オートパワーランプ消灯中の電源ON中	電源がOFFになる	電源がOFFになる	変化なし	変化なし
オートパワーランプ消灯中の電源OFF中	電源がONになる	電源がONになる	変化なし	変化なし

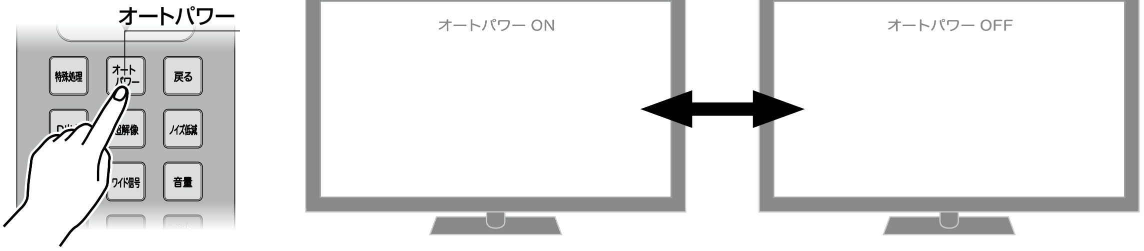
ONE POINT

●入力系統（IN-1 ／ IN-2 ／ D-IN）ごとに独立して設定できます。
●オートパワー機能が有効のとき、電源OFF中は本体パワーランプが消灯し、オートパワーランプ及び選択中の入力選択ランプが点灯します。

リモコンで設定する場合

1. [オートパワー] ボタンを押すごとに画面右上に「オートパワー ON」表示と「オートパワー OFF」表示を繰り返す

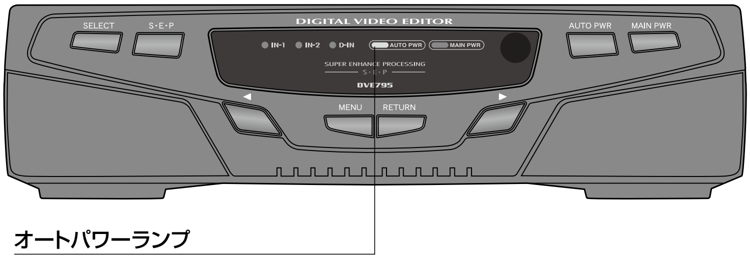
リモコンでの操作



2.「オートパワー ON」にするとオートパワー機能が有効になる。「オートパワー OFF」にするとオートパワー機能が無効になる。

ONE POINT

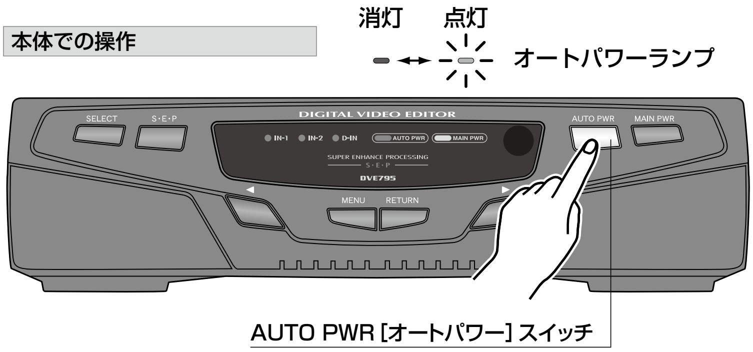
●オートパワー機能を有効にすると、本体オートパワーランプが点灯します。



本体で設定する場合

1. AUTO PWR [オートパワー] スイッチを押すごとにオートパワーランプが点灯、消灯を繰り返す

本体での操作



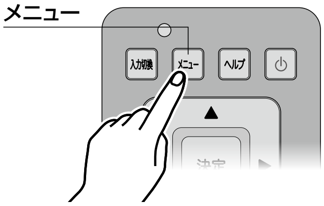
2. オートパワーランプが点灯するとオートパワー機能が有効になる。オートパワーランプが消灯するとオートパワー機能が無効になる。

ヘルプ機能

オンスクリーン表示で項目選択後（詳しくは**16**ページ）、リモコンの「ヘルプ」ボタンを押すとその項目を画面上で解説します。

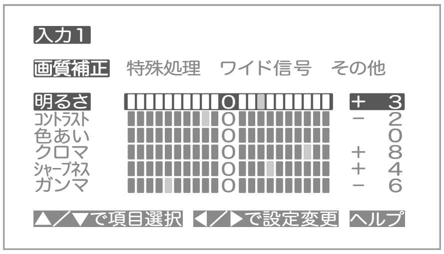
1. [メニュー] ボタンを押してオンスクリーンメニューを表示する

リモコンでの操作

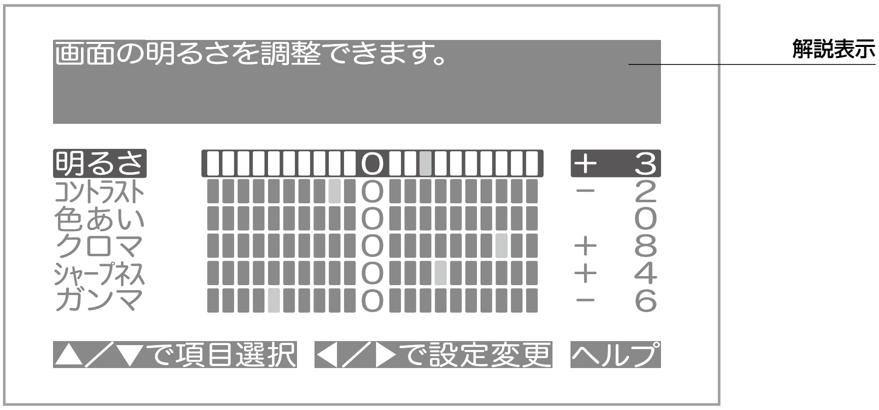


2. 解説を見たい項目を選ぶ

例：画質補正　明るさ調整



3. 項目を選んだ状態でリモコンの [ヘルプ] スイッチを押す



ONE POINT

- ●解説表示中にリモコンのヘルプスイッチ、またはリモコンの戻るスイッチ、またはリモコンの決定スイッチ、または本体のRETURNスイッチを押すと解説表示が消えます（決定スイッチを押すとオンスクリーン表示全体が消えます）。
- ●解説表示のまま無操作状態が 20 秒以上続くか、または電源をOFFにすると、メニュー及び解説表示が画面から消えます。

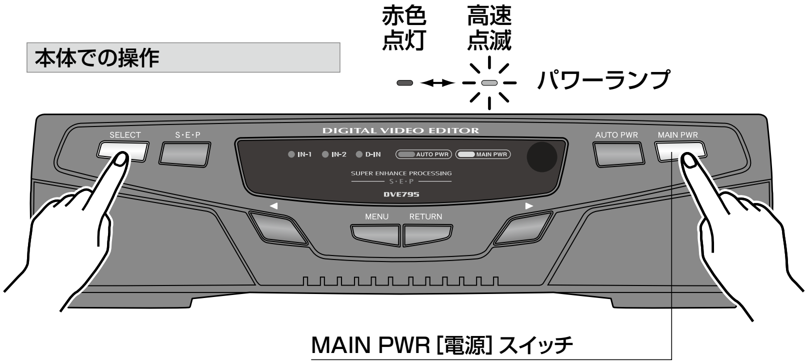
リセット機能

本機の全ての設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。

1. 電源を切る（**9** ページを参照）

2. SELECT [セレクト] スイッチを押しながら MAIN PWR [電源] スイッチを押し続ける

本体での操作



3. SELECT リセット操作を 3 秒以上続けると、パワーランプが緑色点灯に変わりリセット完了となる

ONE POINT

- ●IN-1 / IN-2 / D-IN それぞれに記憶されている設定値が全て初期値に戻ります。
- ●リモコンではリセット操作できません。
- ●パワーランプが点滅から点灯に変わる前に操作を中止すると、リセットされません。

リモコン [セーフモード] ボタンについて

以下の条件では本機が出力した映像をテレビが表示できなくなる場合があります。その際はリモコンの「セーフモードスイッチ」を押してください。
本機のD端子出力（設定項目「映像出力」**20** ページ参照）が強制的に「SD」に切り替わり、D1 出力になります。

リモコンでの操作

本機とテレビを D 端子ケーブルで接続、映像が表示できなくなる例

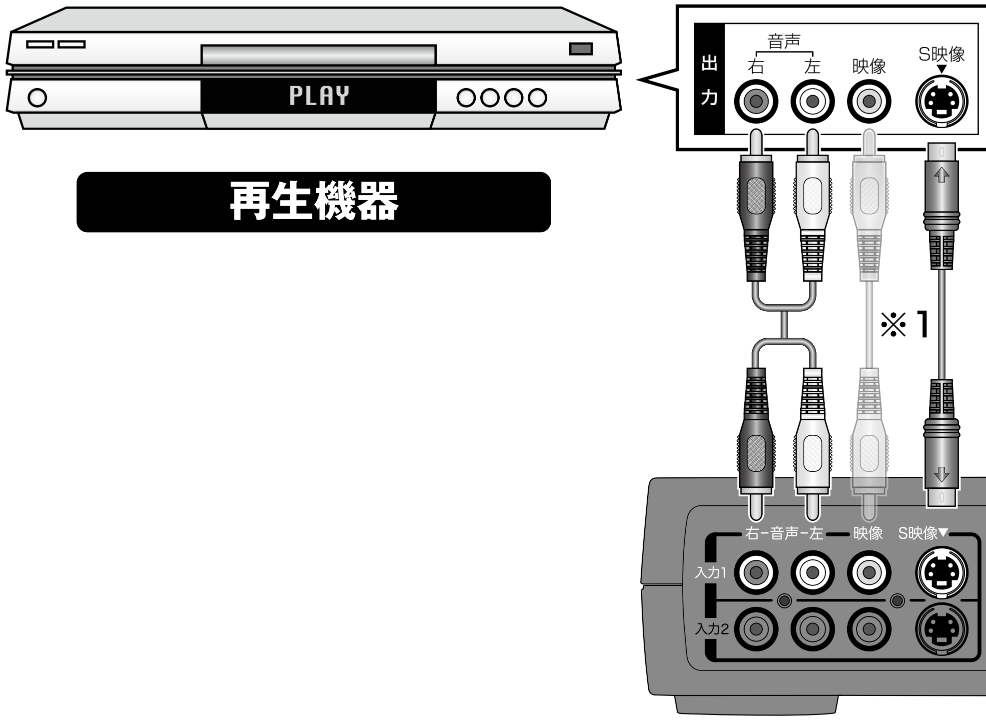
- ・テレビのD端子入力が D1 のみに対応。
  →本機の映像出力設定が D2/D3/D4 のいずれか。
- ・テレビのD端子入力が D1 または D2 に対応。
  →本機の映像出力設定が D3/D4 のいずれか。

再生機器と録画機器をそれぞれ用意して編集する

再生機器と録画機器を使用して編集するスタンダードな使用方法です。

DVE795 以外に用意する機器

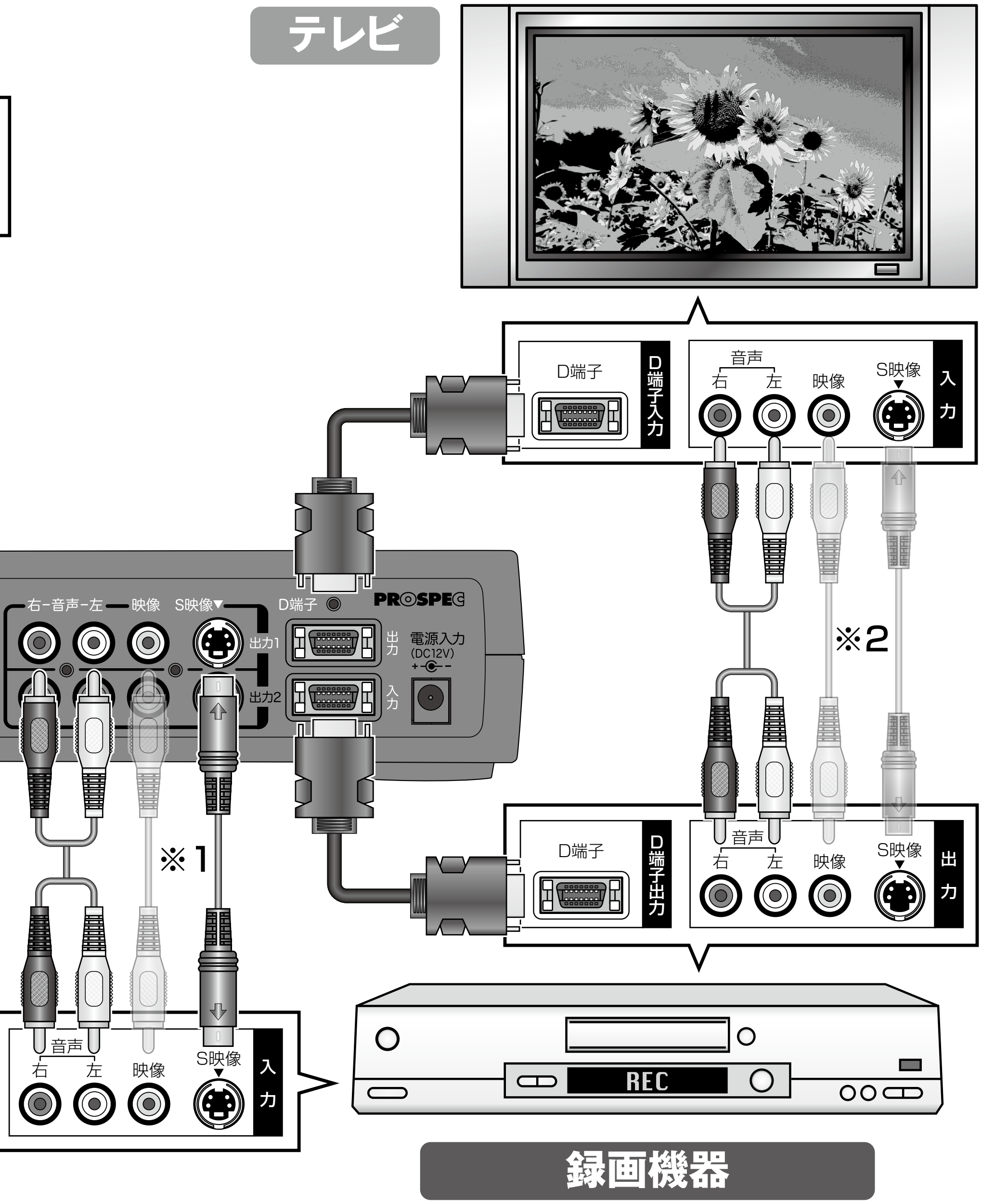
・再生機器＝DVDプレーヤー/デジタルチューナーなど
・録画機器＝DVDレコーダー･Blu-rayレコーダー・HDDレコーダーなど
・テレビ＝D端子入力を装備



※1　必ず同一のケーブルを使用してください
※2　テレビにD端子入力が装備されてない場合

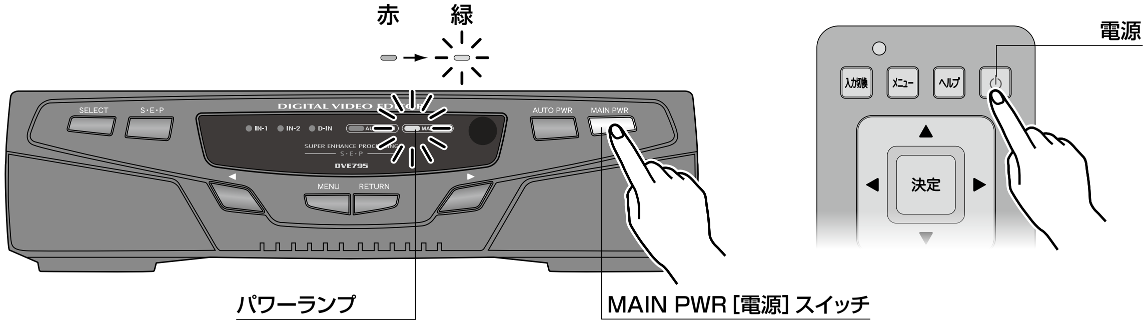
⚠ テレビについて

D端子入力が装備されていなくても使用できますが、その場合はアップコンバート機能は使用できません。D端子入力が装備されていない場合は録画機器とテレビをピン端子ケーブルまたはS端子ケーブルで接続してください。

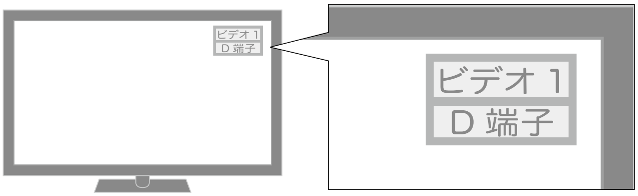


再生機器の映像を録画機器にダビングする
同時に再生機器の映像を鑑賞する

1. 再生機器・DVE795・録画機器・テレビの電源を入れる

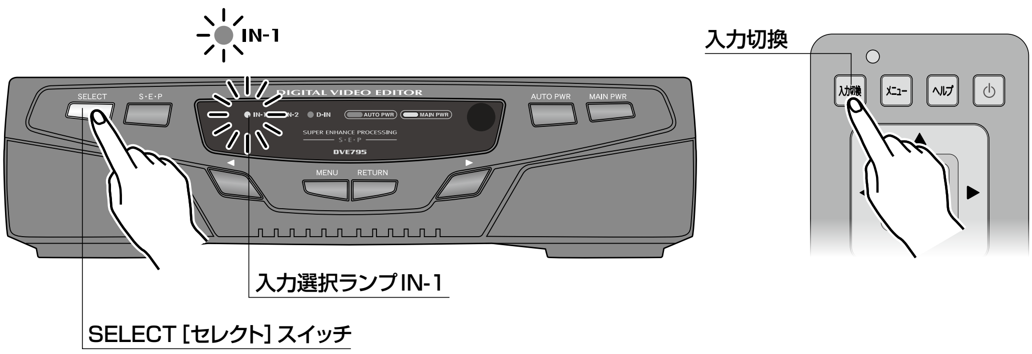


2. テレビを外部入力画面(D端子ケーブルと音声ケーブルを接続した入力：「ビデオ入力 1」など)に切り換える

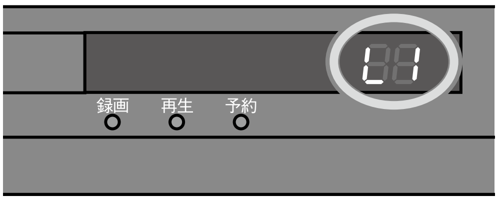


※画面の切り換え方法はテレビの取扱説明書をご参照ください。

3. DVE795の入力1(IN-1)を選択する



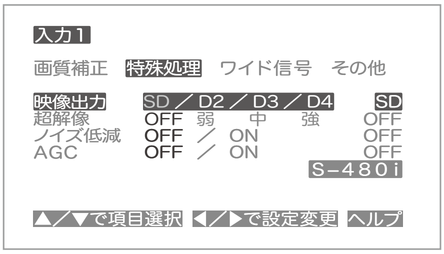
4. DVE795の出力1と接続した、録画機器の外部入力(入力1=L1など)を選択する



例：外部入力1(L1)を選択

※選択方法は録画機器の取扱説明書をご参照ください。

5. DVE795 の「映像出力」設定を「SD」に切り換える。（リモコン「セーフモードボタン」を押す）



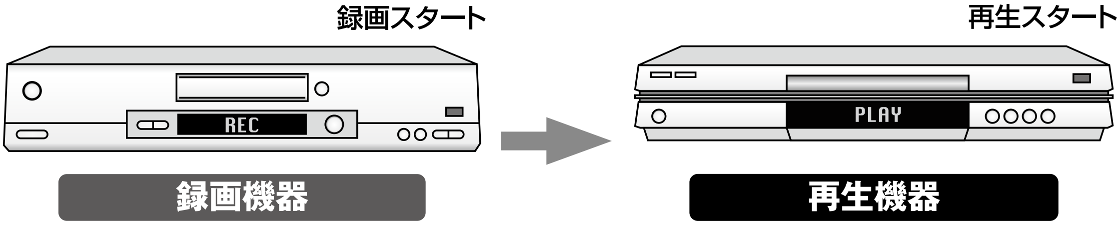
⚠ 画面に映像が映らないときは、リモコン「セーフモード」ボタンを押してください。この操作により「映像出力」設定が「SD」に切り換わります。

6. 再生機器の映像がテレビに映ることを確認する

⚠ 映像が映らないときは

- 接続を確認してください（**28**、**29**ページ参照）。
- 左記「*2.*」からやり直してください。

7. 録画機器の録画を開始してから再生機器の再生を開始する。

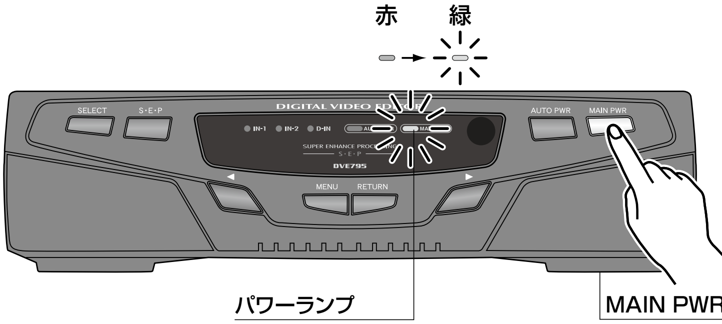


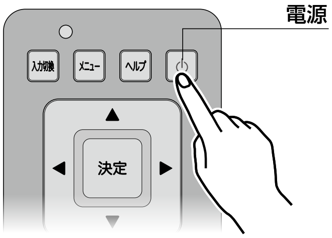
ONE POINT

- 再生機器の再生と録画機器の録画は自動的に停止しません。録画停止と再生停止は必ず手動でおこなってください。
- 録画中にテレビの電源を切っても録画は続けます。（再生機器・DVE795・録画機器の電源はダビングが終了するまで切らないでください）

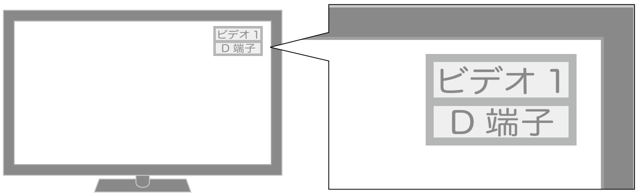
ダビングした映像を鑑賞する

1. DVE795・録画機器・テレビの電源を入れる



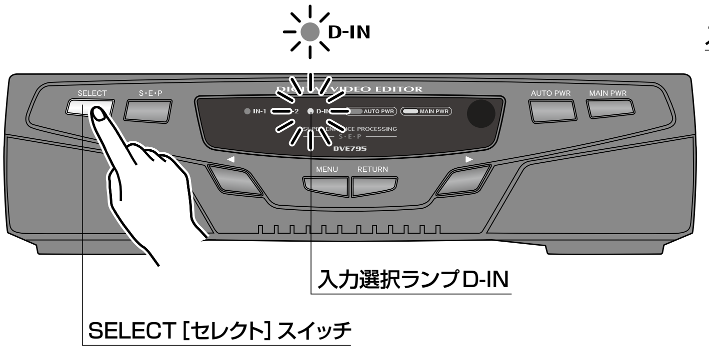


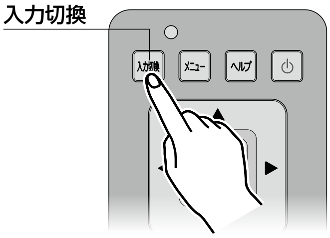
2. テレビを外部入力画面（D端子ケーブルと音声ケーブルを接続した入力：「ビデオ入力 1」など）に切り換える



※画面の切り換え方法はテレビの取扱説明書をご参照ください。

3. DVE795 のD端子入力（D-IN）を選択する





4. DVE795 の「映像出力」設定を「SD」に切り換える。（リモコン「セーフモードボタン」を押す）

D入力

画質補正　特殊処理　ワイド信号　その他

映像出力	SD ／ D2 ／ D3 ／ D4	SD
超解像	OFF　弱　中　強	OFF
ノイズ低減	OFF ／ ON	OFF
AGC	OFF ／ ON	OFF

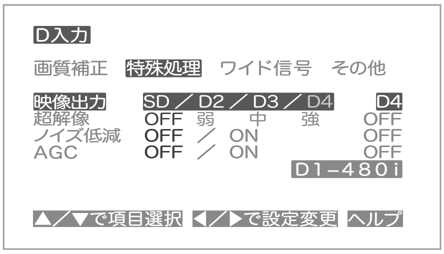
D1－480i

▲／▼で項目選択　◀／▶で設定変更　ヘルプ

⚠ 画面に映像が映らないときは、リモコン「セーフモード」ボタンを押してください。この操作により「映像出力」設定が「SD」に切り換わります。

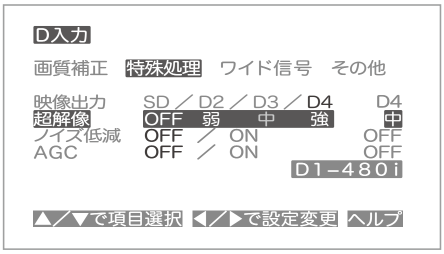
5. ダビングした映像を録画機器で再生する

6. テレビの性能（最大入力解像度=D4 など）に応じて、お好みで「映像出力」設定をおこなう（**16**ページ「メニュー機能を使いこなす」**20**ページ「映像出力」参照）



⚠ 画面に映像が映らないときは、リモコン「セーフモード」ボタンを押してください。この操作により「映像出力」設定が「SD」に切り換わります。

7. お好みに応じて映像に超解像処理※を加える（**16**ページ「メニュー機能を使いこなす」**21**ページ「超解像」参照）

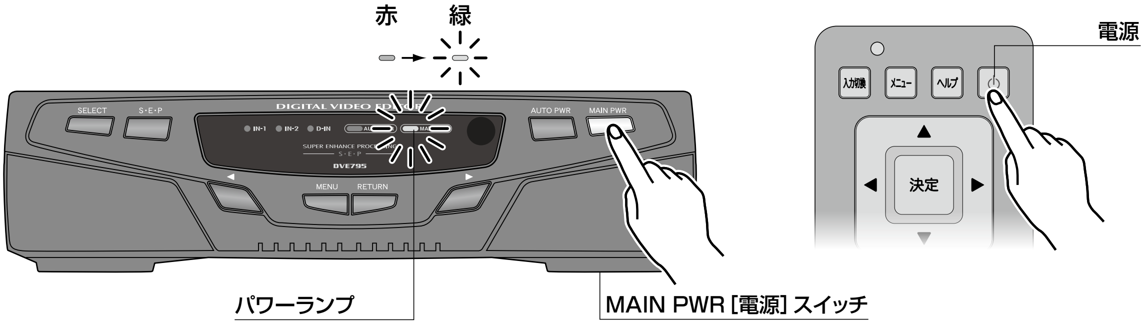


リモコンでの操作

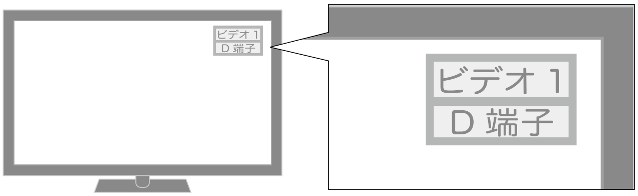
※動きの激しい動画などで効果の差が分かりにくい場合は、一時的に静止画にするなどしてから設定してください。

再生機器の映像を鑑賞する

1. 再生機器・DVE795・録画機器・テレビの電源を入れる

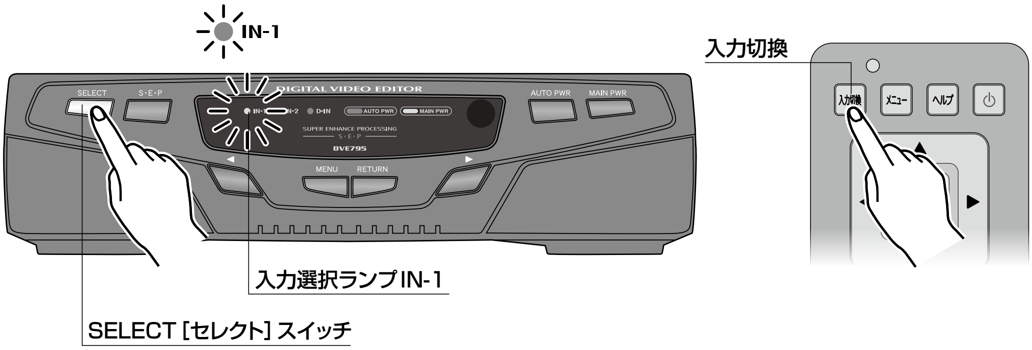


2. テレビを外部入力画面(D端子ケーブルと音声ケーブルを接続した入力：「ビデオ入力 1」など)に切り換える

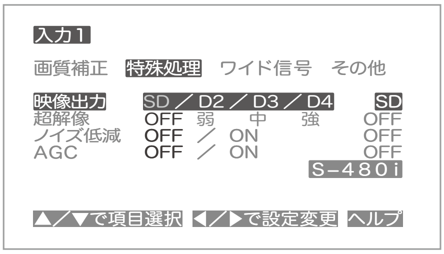


※画面の切り換え方法はテレビの取扱説明書をご参照ください。

3. DVE795 の入力 1(IN-1) を選択する。



4. DVE795 の「映像出力」設定を「SD」に切り換える。(リモコン「セーフモードボタン」を押す)

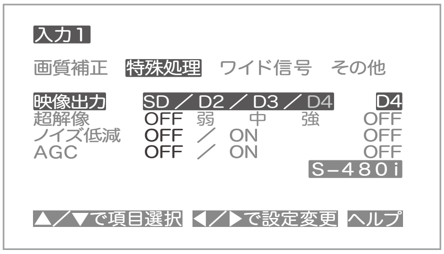


⚠ 画面に映像が映らないときは、リモコン「セーフモード」ボタンを押してください。この操作により「映像出力」設定が「SD」に切り換わります。

5. 再生機器で再生を開始し、映像がテレビに映ることを確認する

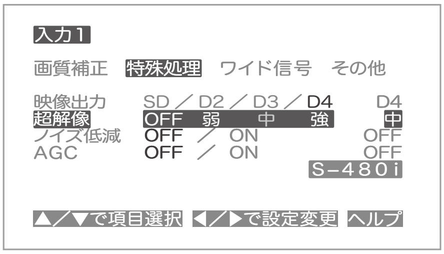
⚠ 映像が映らないときは
- ●接続を確認してください(**28**、**29**ページ参照)。
- ●左記「*2.*」からやり直してください。

6. テレビの性能(最大入力解像度=D4 など)に応じて、お好みで「映像出力」設定をおこなう(**16**ページ「メニュー機能を使いこなす」**20**ページ「映像出力」参照)



⚠ 画面に映像が映らないときは、リモコン「セーフモード」ボタンを押してください。この操作により「映像出力」設定が「SD」に切り換わります。

7. お好みに応じて映像に超解像処理※を加える(**16**ページ「メニュー機能を使いこなす」**21**ページ「超解像」参照)



※動きの激しい動画などで効果の差が分かりにくい場合は、一時的に静止画にするなどしてから設定してください。

ONE POINT

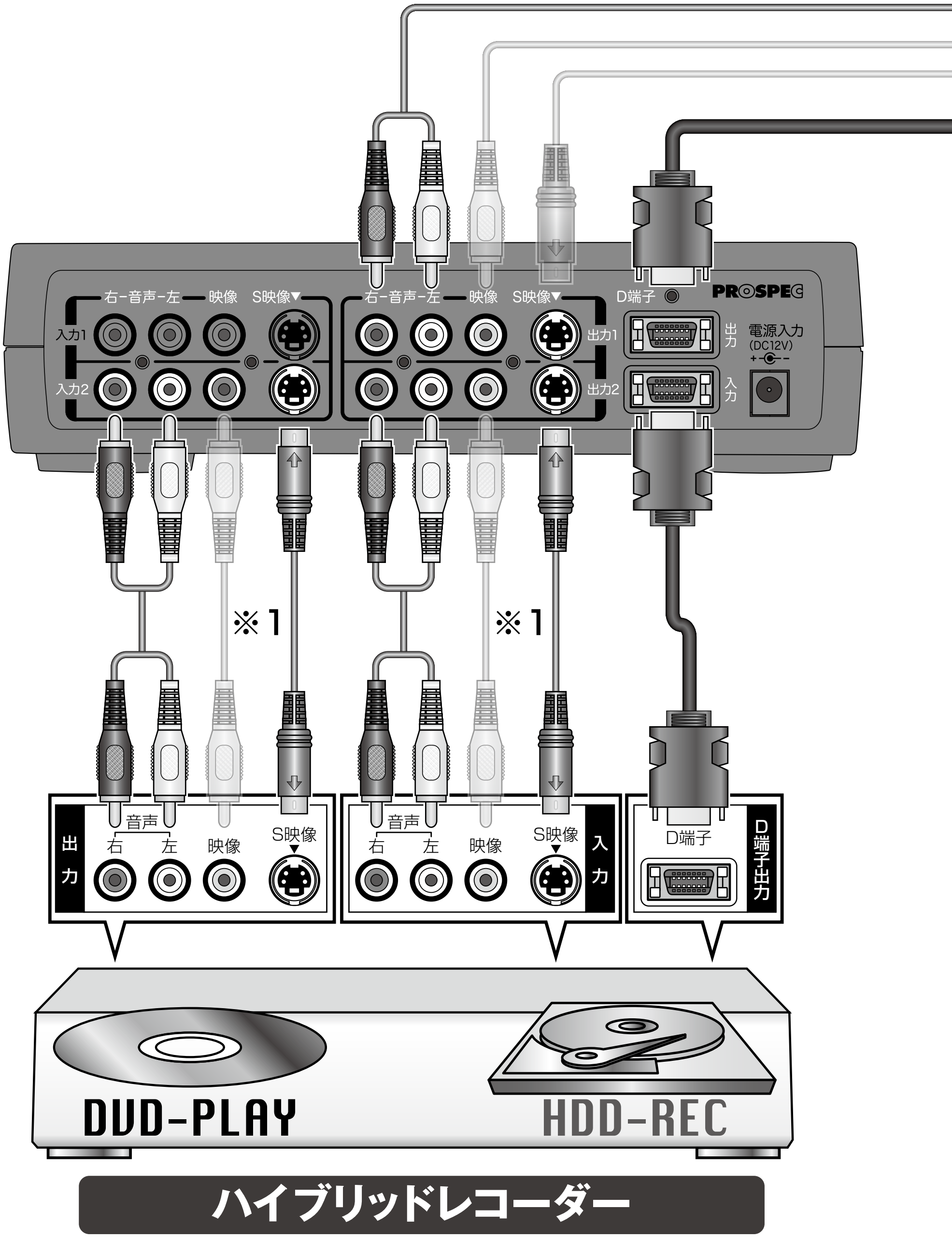
- ●再生機器を同時に 2 台接続して自由に切り換えることができます。詳しくは「接続方法およびご使用方法 3　上級編 1」をご参照ください。
- ●録画機器を同時に 2 台接続して、再生機器の映像を録画機器 2 台で同時にダビングできます。詳しくは「接続方法およびご使用方法 4　上級偏 2」をご参照ください。

ハイブリッドレコーダー 1 台で編集する

ハイブリッドレコーダー (DVD+ハードディスク)1 台で編集する特殊な使用方法です。

DVE795 以外に用意する機器

- ハイブリッドレコーダー
- テレビ＝D端子入力を装備

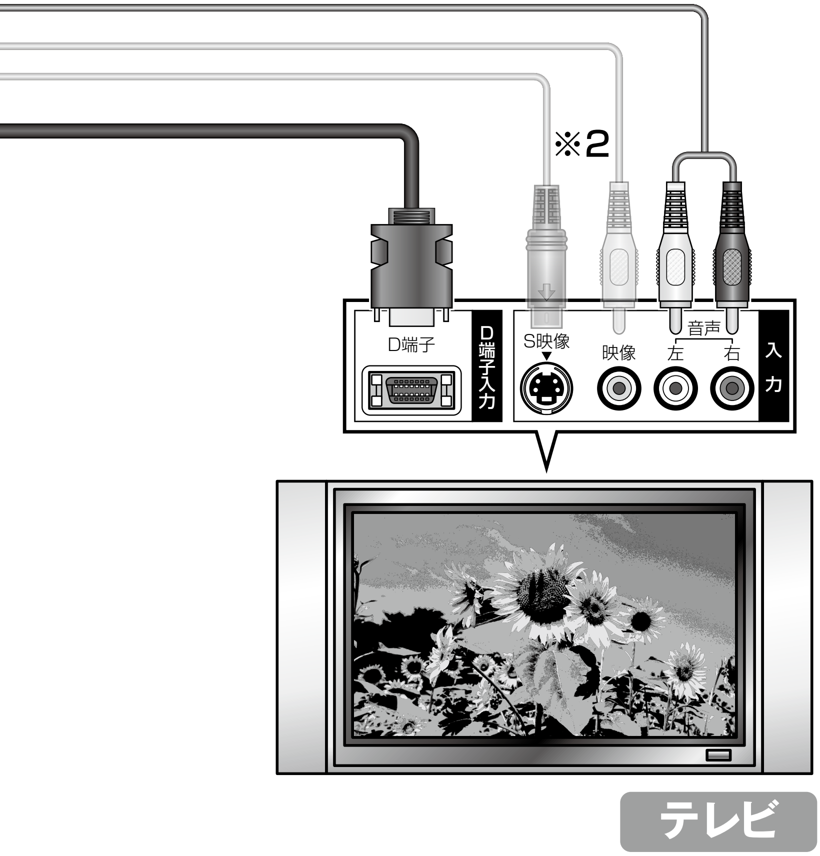


⚠ ハイブリッドレコーダーについて

ハイブリッドレコーダーの仕様によってはこの方法が使用できない場合があります(再生と録画が同時にできない、ハードディスクでの外部入力している映像の録画中にDVDが再生できないなど)。また、Blu-rayレコーダーなどHDMI出力端子を装備している機器の場合、HDMI出力を優先にしているとD端子出力がD1 映像のみになるなど制限される可能性がありますので、正常に動作しない場合はハイブリッドレコーダーの取扱説明書をご参照のうえ仕様をご確認ください。

⚠ テレビについて

D端子入力が装備されていなくても使用できますが、その場合はアップコンバート機能は使用できません。D端子入力が装備されていない場合は録画機器とテレビをピン端子ケーブルまたはS端子ケーブルで接続してください。

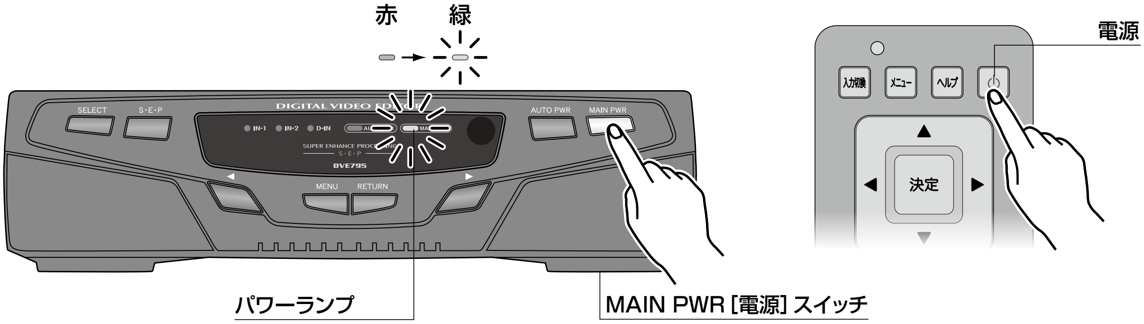


※1　必ず同一のケーブルを使用してください
※2　テレビにD端子入力が装備されてない場合

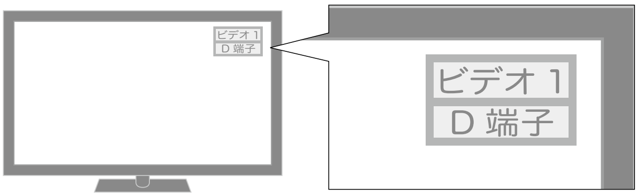
ご使用方法［基本編］
ご使用方法［応用編］
便利な機能
接続・使用方法1［基本編］
接続・使用方法2［応用編］
付録

DVD 映像をハードディスクにダビングする、またはハードディスク内の特定映像をハードディスクにダビングする・同時に再生映像を鑑賞する

1. ハイブリッドレコーダー・DVE795・テレビの電源を入れる

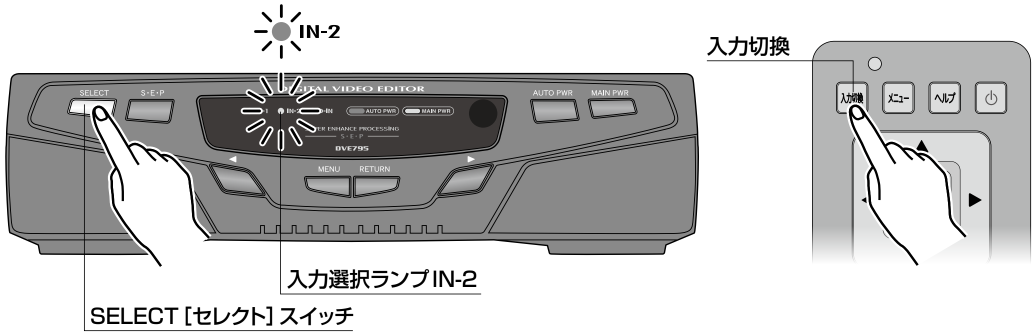


2. テレビを外部入力画面(D 端子ケーブルと音声ケーブルを接続した入力：「ビデオ入力 1」など)に切り換える

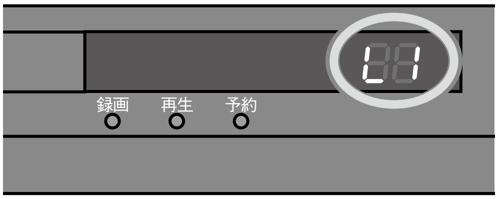


※画面の切り換え方法はテレビの取扱説明書をご参照ください。

3. DVE795 の入力 2(IN-2) を選択する。



4. DVE795 の出力 2 と接続した、ハイブリッドレコーダーの外部入力(入力 1=L1 など)を選択する

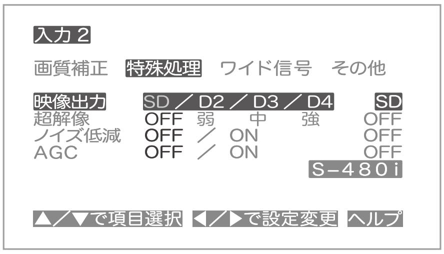


例：外部入力 1(L1)を選択

※選択方法はハイブリッドレコーダーの取扱説明書をご参照ください。

⚠ このタイミングでの表示画面はハウリングにより乱れていますが、以降の操作で DVD またはハードディスク内の特定映像の再生を開始するとハウリングが収まります。

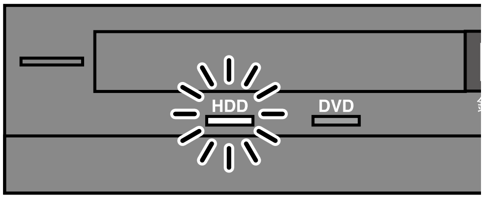
5. DVE795 の「映像出力」設定を「SD」に切り換える。（リモコン「セーフモードボタン」を押す）



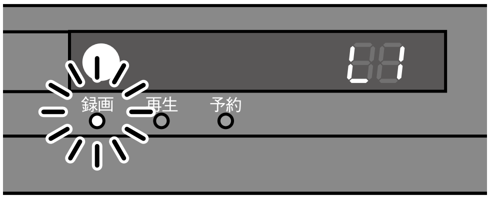
⚠ 画面に映像が映らないときは、リモコン「セーフモード」ボタンを押してください。この操作により「映像出力」設定が「SD」に切り換わります。

● DVD 映像をハードディスクにダビングする場合

6. ハイブリッドレコーダーをハードディスク（HDD）モードに切り換える

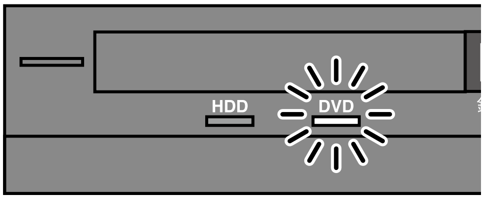


7. ハイブリッドレコーダーの REC（録画）ボタンを押して、ハードディスクでの録画を開始する



録画スタート

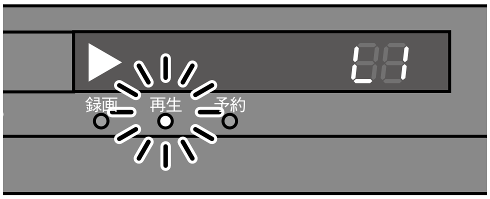
8. ハイブリッドレコーダーを DVD モードに切り換える



次のページにつづく

● DVD 映像をハードディスクにダビングする場合　つづき

9. DVDの再生を開始する



再生スタート

10. 乱れていない正常なDVD映像がテレビに映ることを確認する

⚠ 映像が映らないときは

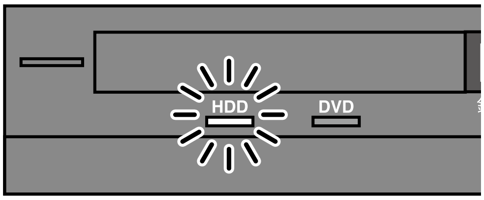
- ●接続を確認してください(**36**、**37**ページ参照)。
- ●**38**ページ「**2.**」からやり直してください。

ONE POINT

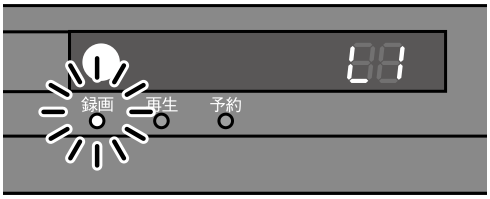
- ●再生と録画は自動的に停止しません。録画停止と再生停止は必ず手動でおこなってください。録画停止及びハードディスク内の特定映像の再生停止はハードディスク(HDD)モードで停止ボタンを押します。DVDの再生停止はDVDモードに切り換えてから停止ボタンを押します。
- ●録画中にテレビの電源を切っても録画は続けます。(ハイブリッドレコーダーの電源はダビングが終了するまで切らないでください)
- ●ハードディスクにダビングした映像をDVDにコピーする場合は、ハイブリッドレコーダーの取扱説明書を参照してください。

●ハードディスク内の特定映像をハードディスクにダビングする場合

6. ハイブリッドレコーダーをハードディスク(HDD)モードに切り換える

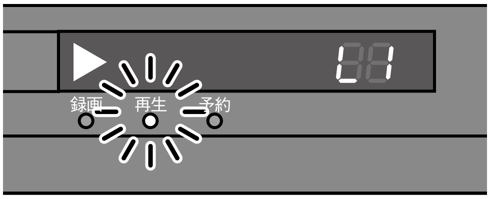


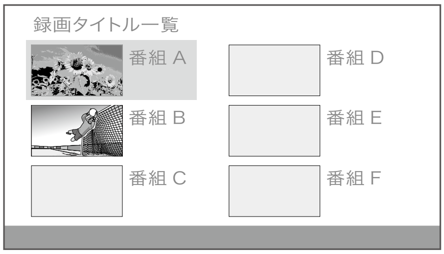
7. ハイブリッドレコーダーのREC(録画)ボタンを押して、ハードディスクでの録画を開始する



録画スタート

8. ハードディスク内の特定映像を選択して再生を開始する





9. 乱れていない正常な再生映像がテレビに映ることを確認する

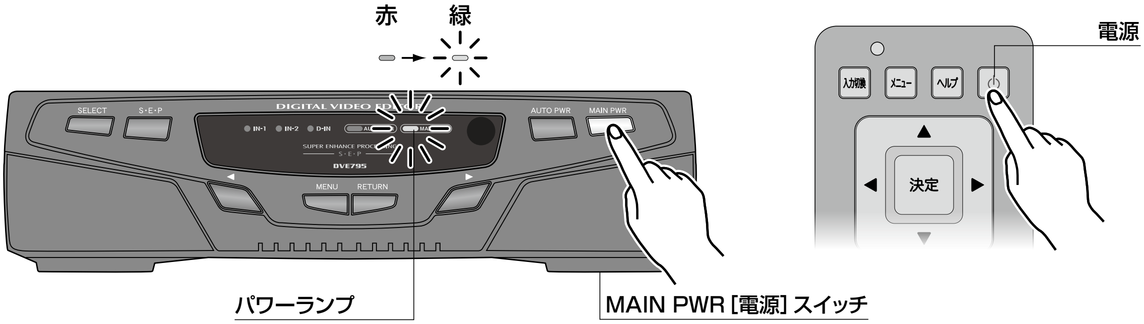
⚠ 映像が映らないときは

●接続を確認してください(**36**、**37**ページ参照)。

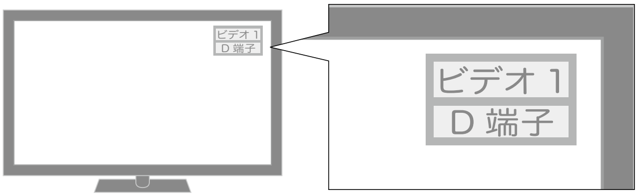
●**38**ページ「***2.***」からやり直してください。

ダビングした映像を鑑賞する

1. ハイブリッドレコーダー・DVE795・テレビの電源を入れる

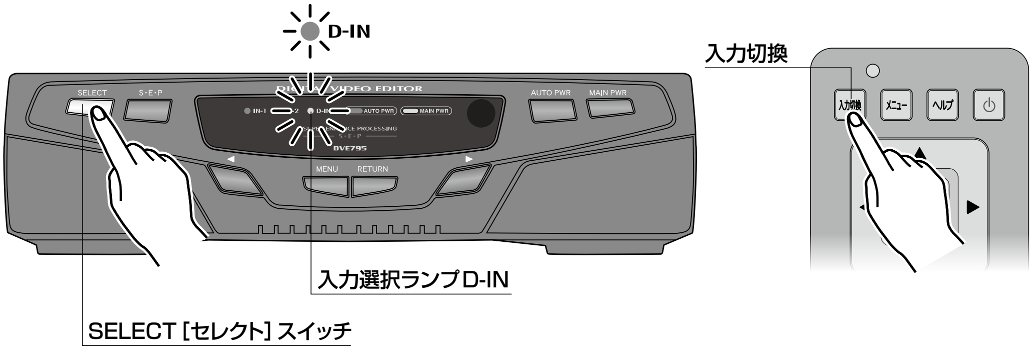


2. テレビを外部入力画面(D端子ケーブルと音声ケーブルを接続した入力：「ビデオ入力 1」など)に切り換える



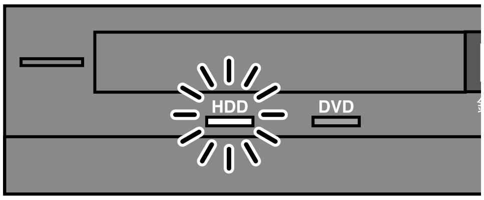
※画面の切り換え方法はテレビの取扱説明書をご参照ください。

3. DVE795 のD端子入力(D-IN) を選択する。

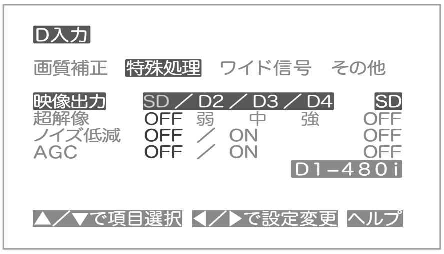


⚠ このタイミングでの表示画面はハウリングにより乱れていますが、以降の操作でハードディスク内の特定映像の再生を開始するとハウリングが収まります。

4. ハイブリッドレコーダーをハードディスク(HDD) モードに切り換える

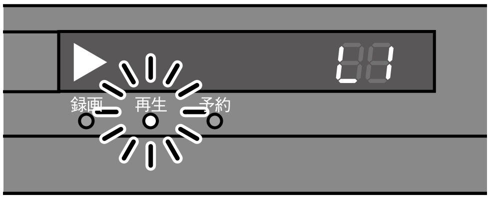


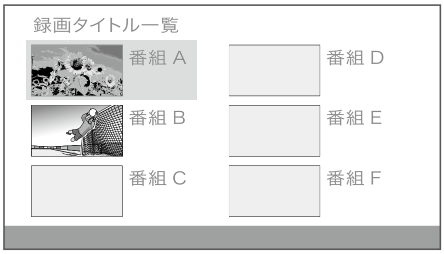
5. DVE795 の「映像出力」設定を切り換える。（リモコン「セーフモードボタン」を押す）



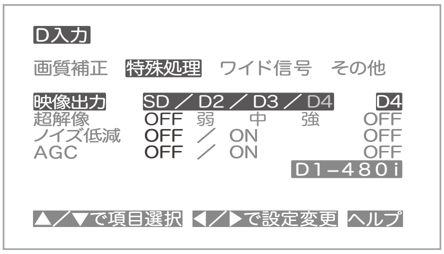
⚠ 画面に映像が映らないときは、リモコン「セーフモード」ボタンを押してください。この操作により「映像出力」設定が「SD」に切り換わります。

6. ハードディスク内の特定映像を選択して再生を開始する



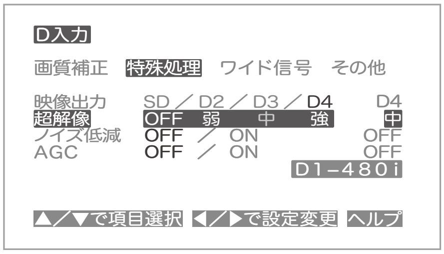


7. テレビの性能（最大入力解像度=D4 など）に応じて、お好みで「映像出力」設定をおこなう（**16**ページ「メニュー機能を使いこなす」**20**ページ「映像出力」参照）



⚠ 画面に映像が映らないときは、リモコン「セーフモード」スイッチを押してください。この操作により「映像出力」設定が「SD」に切り換わります。

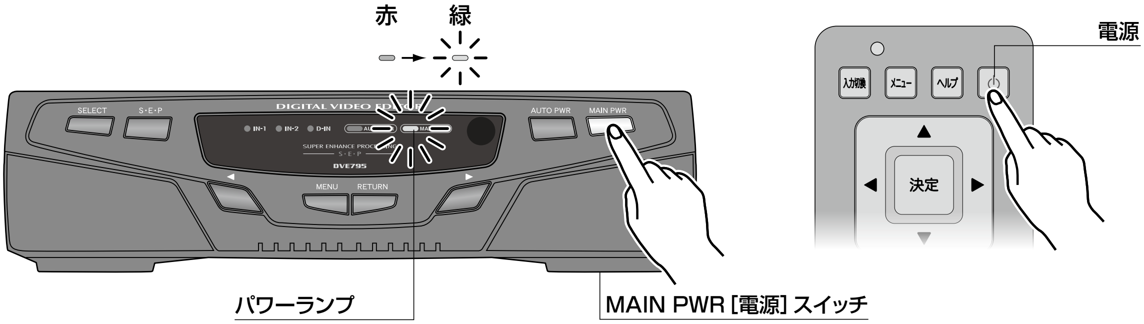
8. お好みに応じて映像に超解像処理※を加える（**16**ページ「メニュー機能を使いこなす」**21**ページ「超解像」参照）



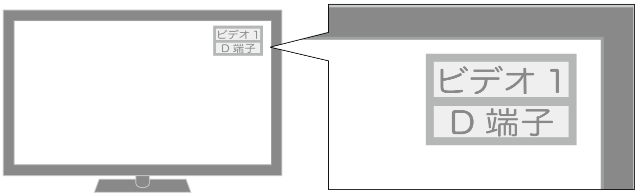
※動きの激しい動画などで効果の差が分かりにくい場合は、一時的に静止画にするなどしてから設定してください。

DVD 映像を鑑賞する

1. ハイブリッドレコーダー・DVE795・テレビの電源を入れる

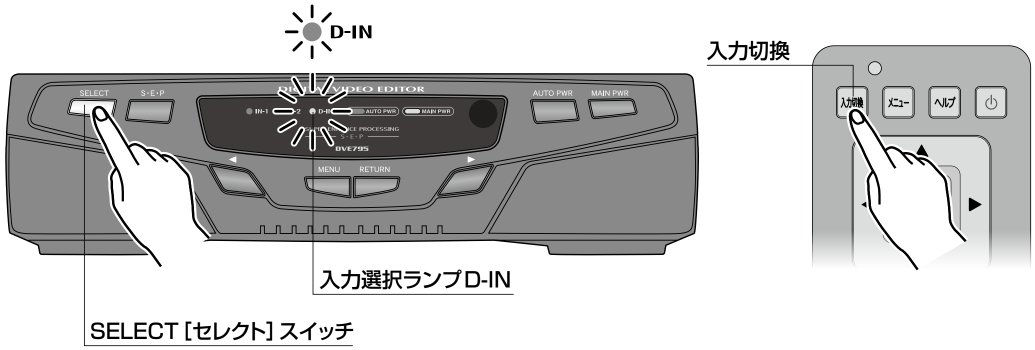


2. テレビを外部入力画面(D 端子ケーブルと音声ケーブルを接続した入力：「ビデオ入力 1」など)に切り換える



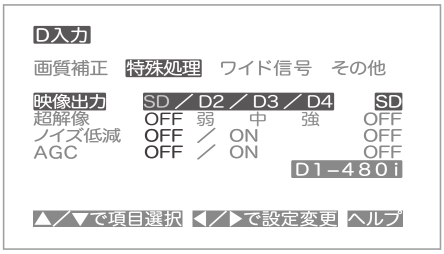
※画面の切り換え方法はテレビの取扱説明書をご参照ください。

3. DVE795 の D 端子入力(D-IN) を選択する。



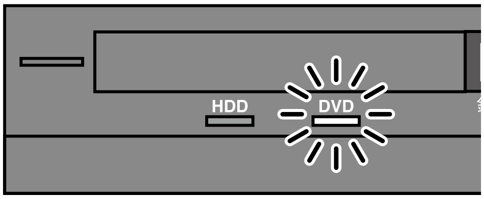
⚠ このタイミングでの表示画面はハウリングにより乱れていますが、以降の操作で DVD 映像の再生を開始するとハウリングが収まります。

4. DVE795 の「映像出力」設定を「SD」に切り換える。(リモコン「セーフモードボタン」を押す)

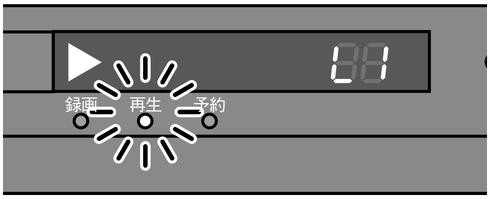


⚠ 画面に映像が映らないときは、リモコン「セーフモード」ボタンを押してください。この操作により「映像出力」設定が「SD」に切り換わります。

5. ハイブリッドレコーダーをDVDモードに切り換える



6. DVDの再生を開始する

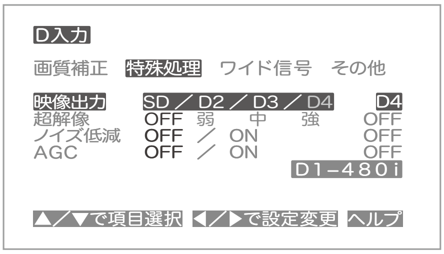


⚠ 映像が映らないときは

●接続を確認してください(**36**、**37**ページ参照)。

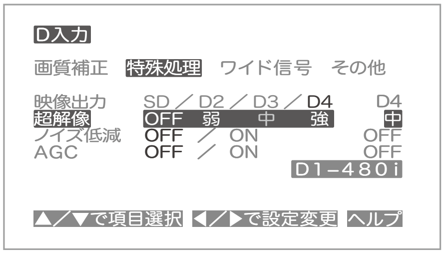
●左記「*2.*」からやり直してください。

7. テレビの性能(最大入力解像度=D4など)に応じて、お好みで「映像出力」設定をおこなう(**16**ページ「メニュー機能を使いこなす」**20**ページ「映像出力」参照)



⚠ 画面に映像が映らないときは、リモコン「セーフモード」ボタンを押してください。この操作により「映像出力」設定が「SD」に切り換わります。

8. お好みに応じて映像に超解像処理※を加える(**16**ページ「メニュー機能を使いこなす」**21**ページ「超解像」参照)



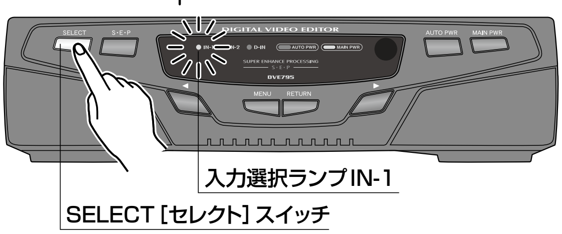
リモコンでの操作

※動きの激しい動画などで効果の差が分かりにくい場合は、一時的に静止画にするなどしてから設定してください。

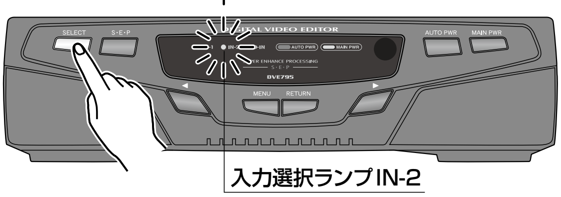
再生機器 2 台で編集する

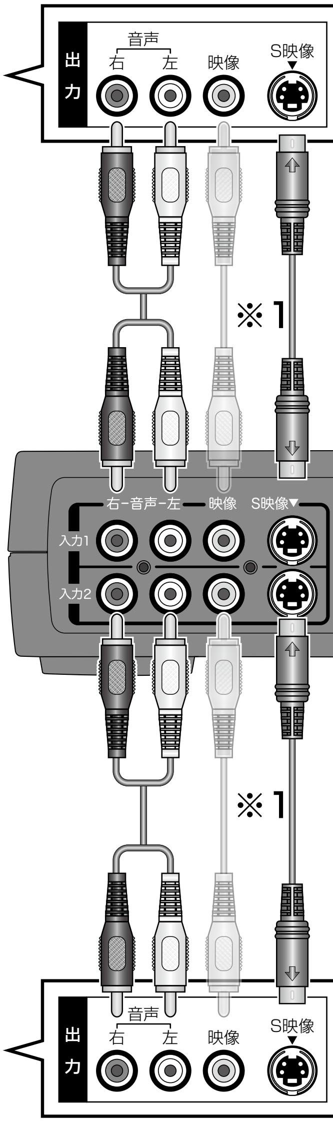
再生機器を同時に 2 台接続し、セレクター機能で切り換えます。入力 1 に接続した再生機器を選択する場合は「IN-1」に、入力 2 に接続した再生機器を選択する場合は「IN-2」に切り換えます。

入力 1



入力 2





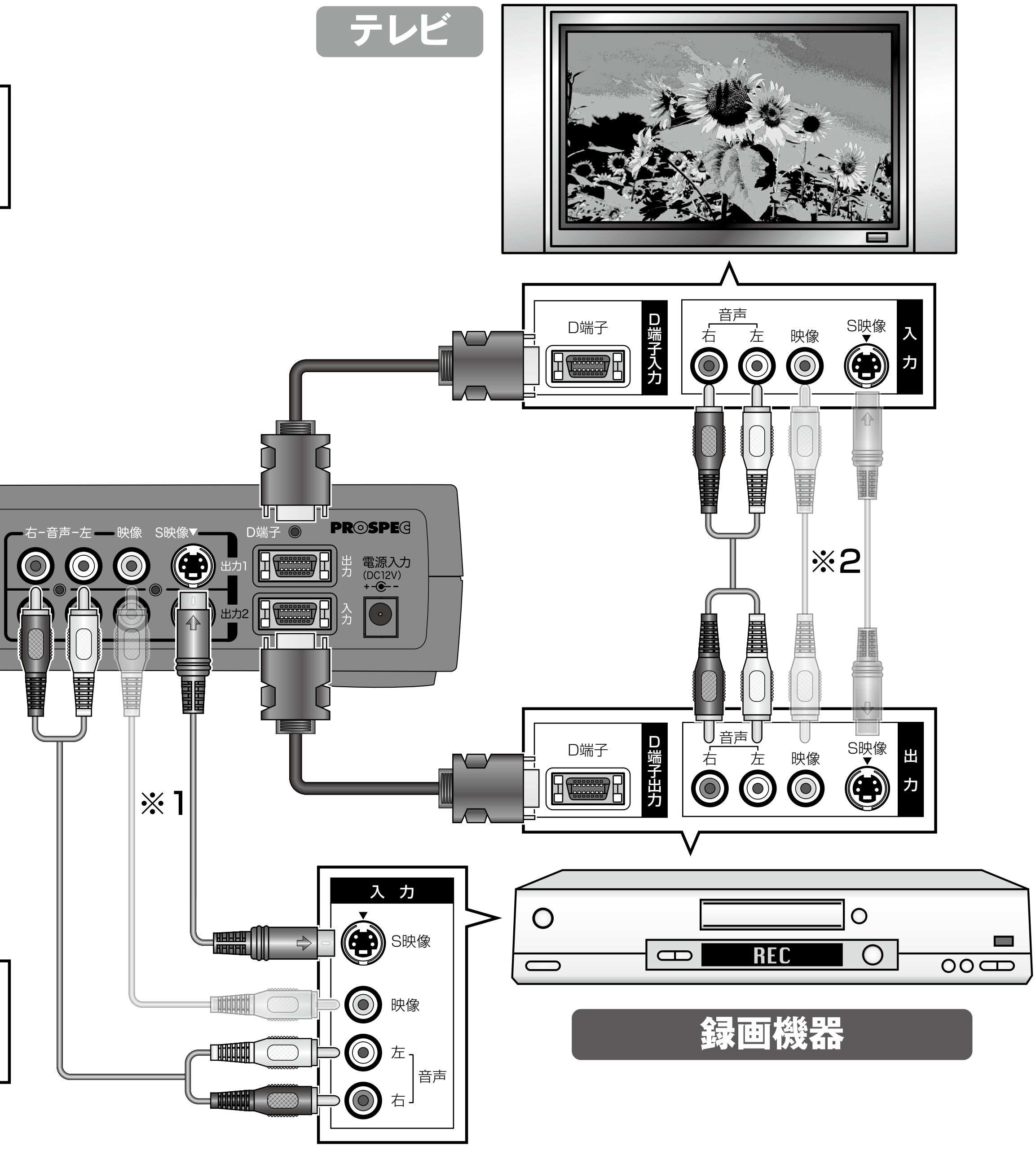
※1　必ず同一のケーブルを使用してください
※2　テレビにD端子入力が装備されてない場合

DVE795 以外に用意する機器

・再生機器＝DVDプレーヤー/デジタルチューナーなど　2台
・録画機器＝DVDレコーダー･Blu-rayレコーダー・HDDレコーダーなど
・テレビ＝D端子入力を装備

⚠ テレビについて

D端子入力が装備されていなくても使用できますが、その場合はアップコンバート機能は使用できません。D端子入力が装備されていない場合は録画機器とテレビをピン端子ケーブルまたはS端子ケーブルで接続してください。



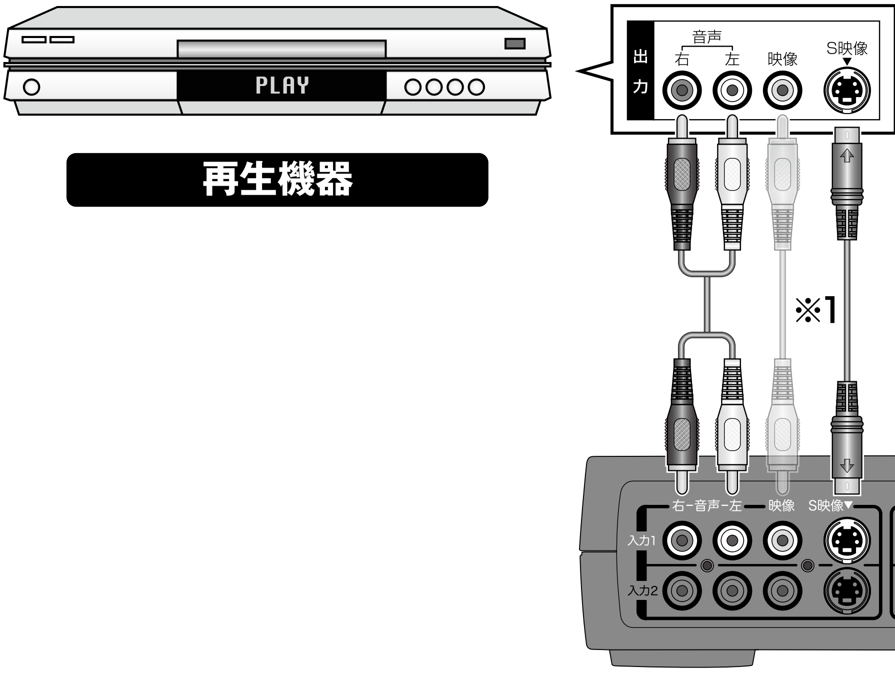
接続方法およびご使用方法 4 [上級編 2]

録画機器 2 台で同時にダビングする

手順は [再生機器の映像を録画機器にダビングする・同時に再生機器の映像を鑑賞する] （**30** ページ）と同じです。録画を開始する際は、手順「*7.*」のときに録画機器 2 台同時に録画を開始してください。

DVE795 以外に用意する機器

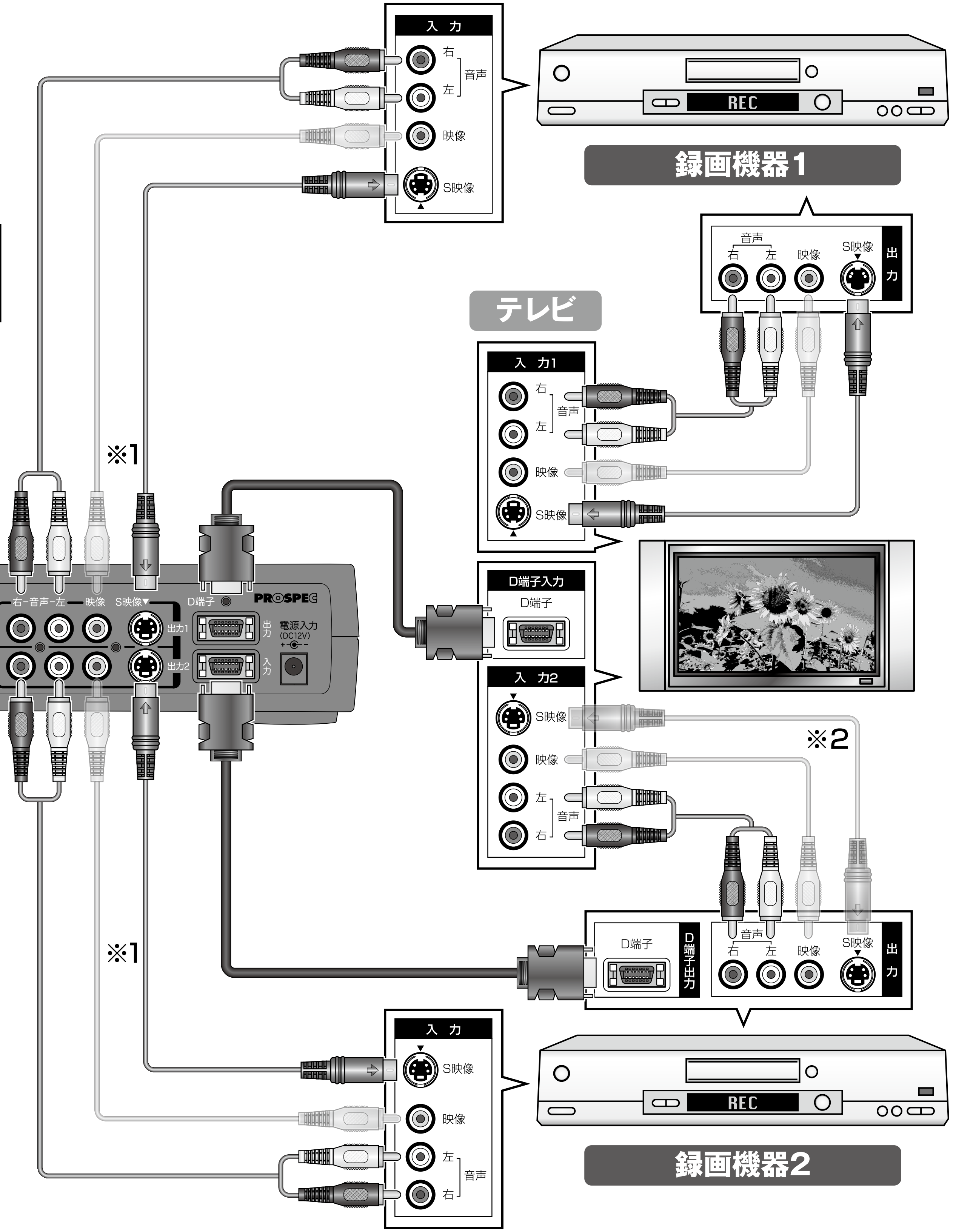
・再生機器＝DVDプレーヤー/デジタルチューナーなど
・録画機器＝DVDレコーダー･Blu-rayレコーダー・HDDレコーダーなど　2台
・テレビ＝D端子入力を装備



※1　必ず同一のケーブルを使用してください
※2　テレビにD端子入力が装備されてない場合

⚠ テレビについて

D端子入力が装備されていなくても使用できますが、その場合はアップコンバート機能は使用できません。D端子入力が装備されていない場合は録画機器とテレビをピン端子ケーブルまたはS端子ケーブルで接続してください。

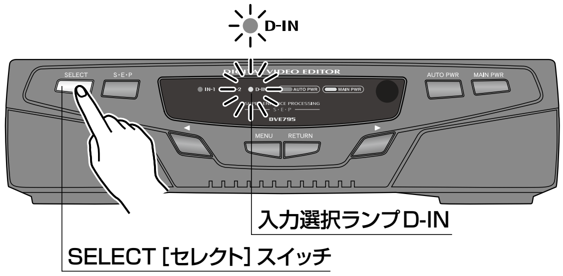

入 力
右
左
音声
映像
S映像
REC
録画機器1
出力
テレビ
入 力1
※1
D端子入力
D端子
入 力2
※2
PROSPEC
右-音声-左
D端子
出力1
出力2
出力
入力
電源入力
(DC12V)
D端子出力
録画機器2

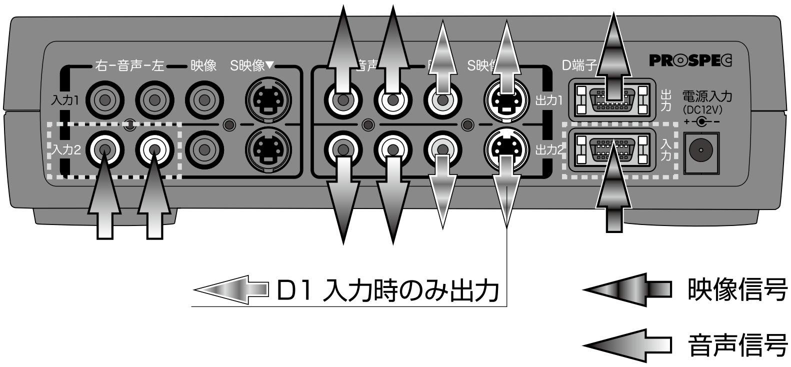
各入力選択時の出力について

それぞれの入力選択時における出力動作です。

● D-IN 選択時

D端子入力(D-IN)を選択時の映像および音声出力については、以下を参照してください。

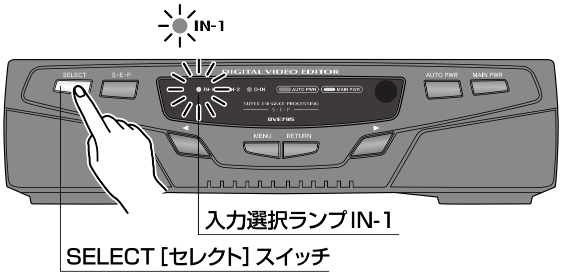


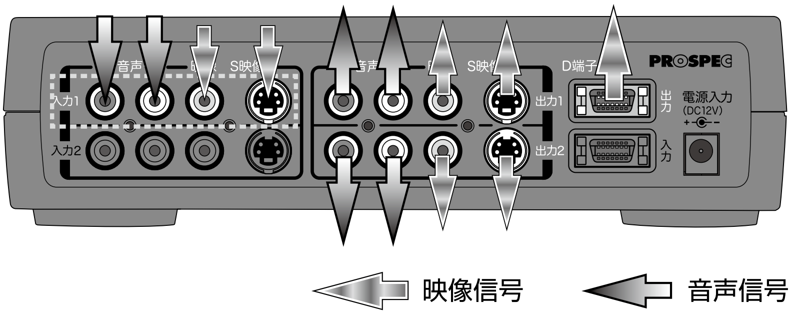


入　力	D端子入力に接続している再生機器の映像、入力２に接続している再生機器の音声を入力する。
出　力	D1 映像入力時は全ての映像端子から映像が出力される。D2 以上の映像入力時はD端子出力からのみ映像が出力される。音声は全ての出力端子から出力される。
例　外	「映像出力」設定(**20**ページ参照)をD2 以上に設定すると、D1 映像入力時であっても映像出力はD端子からのみとなります。

● IN-1 選択時

入力 1(IN-1) を選択時の映像および音声出力については、以下を参照してください。

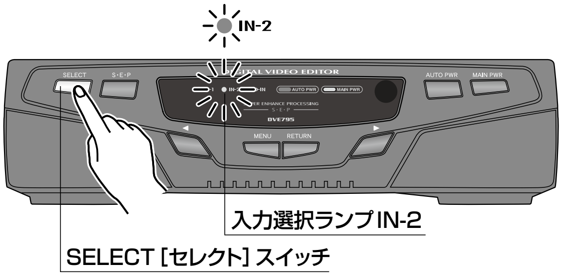


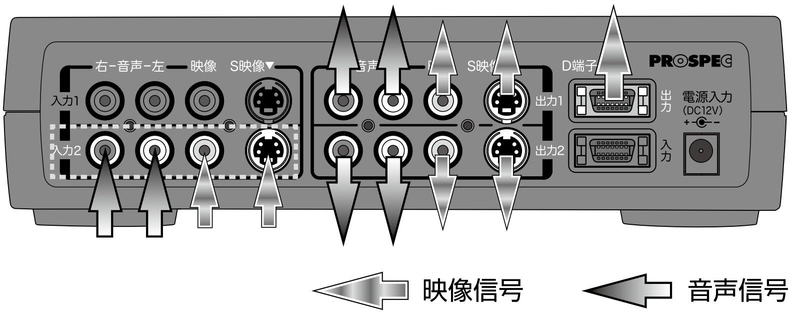


入　力	入力 1 に接続している再生機器の映像・音声を入力する。映像はピン端子・S 端子を同時に接続するとS 端子のみの入力となる。
出　力	出力 1・出力 2・D 端子出力全てから出力される。
例　外	「映像出力」設定 (**20**ページ参照) をD2 以上に設定すると、映像出力はD 端子からのみとなります。

● IN-2 選択時

入力 2(IN-2) を選択時の映像および音声出力については、以下を参照してください。





入　力	入力 2 に接続している再生機器の映像・音声を入力する。映像はピン端子・S 端子を同時に接続するとS 端子のみの入力となる。
出　力	出力 1・出力 2・D 端子出力全てから出力される。
例　外	「映像出力」設定 (**20**ページ参照) をD2 以上に設定すると、映像出力はD 端子からのみとなります。

使用中のトラブルと回避方法

故障かな？…とお思いの時はアフターサービスをご依頼になる前に、つぎの点をお調べください

電源に関して

●MAIN PWR[電源]スイッチを押しても電源が切れない

・電源を切る場合はMAIN PWR[電源]スイッチを2秒以上押してください(**9**ページ参照)。
・オートパワー機能をONにした状態で、映像を入力していませんか?(**24**ページ参照)

●電源が入らない

・付属のACアダプターを使用していますか？　付属のACアダプター以外は使用できません。
・ACアダプターは確実に接続されていますか?

録画に関して

●ハードディスクには直接録画できるが、DVD-R等には直接録画ができない

・一部のハードディスク内蔵レコーダーは、その仕様により特定のメディアを使用しての直接録画ができない場合があります。その場合は、一旦ハードディスクに録画してからその映像をDVD-Rに録画してください。詳しくはレコーダーの取扱説明書をご参照ください。

テレビ画面に表示される映像に関して

●ワイド映像 (16：9) が縦長 (4：3) に映る

・録画機器及びテレビがワイド識別信号に対応しているかご確認ください。また、録画機器の長時間記録モード使用時や、記録メディアの種類(CPRM非対応のDVD-R使用時など)によっては、ワイド識別信号が記録されない場合があります。詳しくは録画機器やテレビの取扱説明書をご参照ください。

●映像に波状のノイズが現れる

・付属品以外のACアダプターを使用していると発生する場合があります。付属品以外のACアダプターは本機の故障の原因となりますので絶対に使用しないでください。
・1つのテーブルタップに他の機器と合わせて接続していると発生する場合があります。ACアダプターはできるだけコンセントに直接接続してください。
・一部の再生機器(テレビチューナー等)との相性により発生する場合があります。弊社にご相談ください。

●映像の色が不自然に薄くなる、変色する、全体的に緑色または赤色っぽくなる

・再生機器または録画機器のTBC機能がONになっていると発生する場合があります(TBC機能を有する場合)。再生機器または録画機器のTBC機能をOFFにしてください。
・再生機器または録画機器のDNR(デジタルノイズリダクション)機能がONになっていると発生する場合があります(DNR機能を有する場合)。再生機器または録画機器のDNR機能をOFFにしてください。
・D端子を使用している場合は一度外して接続しなおしてください。

●映像がブレるまたはゴーストが発生する

・再生機器または録画機器のDNR（デジタルノイズリダクション）機能がONになっていると発生する場合があります(DNR機能を有する場合)。再生機器または録画機器のDNR機能をOFFにしてください。

●ビデオデッキ(アナログソース)側で一時停止やスロー再生(特殊効果)をおこなうと、乱れた映像が出力される

・アナログソースに特殊効果を加えて本機の回路を通して出力すると、映像が乱れて出力される場合があります。このような場合は特殊効果を加えずに再生してください。

●映像が一瞬途切れてしまうことがある

・録画機器とテレビとをHDMIケーブルで接続している場合、テレビの電源のON／OFF等で一瞬途切れることがあります。この場合は、編集時のみHDMIケーブルを使用せずに他の映像ケーブル(S端子ケーブル/ピン端子ケーブル/D端子ケーブル)に入れ替えてください。

テレビ画面に表示される映像に関して　つづき

●映像が出力されない

・録画機器の設定を、本機とケーブルで接続している入力端子にリンクしている外部入力チャンネル(L1、L2 など)に設定していますか？設定方法は録画機器の取扱説明書をご参照ください。

・本機のパワーランプは緑色に点灯していますか？赤色に点灯している場合は電源が入っていません。消灯している場合はACアダプターが接続されていません。

・ケーブルの接続を見直してください。

・録画機器の一部機種では、入力した映像が「セパレート信号(S端子ケーブル使用時)」か「コンポジット信号(ピン端子ケーブル使用時)」かを手動で切り替える必要がある場合があります。録画機器の取扱説明書をご確認ください。

・録画機器の一部機種では、HDMI端子やD端子を使用しているとS端子出力やピン端子出力から映像が出力されない場合があります。そのような接続をしているときは、録画機器側のS端子出力またはピン端子出力とテレビとを直接接続し、映像がテレビに表示されるかどうか確認してください。映像がテレビに表示されない場合は、録画機器側の「映像出力設定」を変更してください。

●ハイブリッドレコーダー 1 台で編集した映像に字幕が表示されない

・ハイブリッドレコーダーとテレビとをHDMIケーブルまたはD端子ケーブルで接続している場合、ハイブリッドレコーダーの仕様によってはピン端子出力またはS端子出力から字幕が出力されない場合があります。ハイブリッドレコーダーとテレビとをS端子ケーブルまたはピン端子ケーブルで接続してください。

●本機の電源を OFF にすると映像が表示されなくなる。音声は聞こえる

・本機の電源をOFFにすると入力した映像をそのまま出力しますが、入力側映像ケーブルと出力側映像ケーブルの種類が異なる場合は映像が出力されません。

●ピン端子で映像を入力しても映像が出力されない

・同一の入力系統にS 端子ケーブルとピン端子ケーブルを両方接続していませんか？ S端子ケーブルを接続するとS端子入力を優先します。

● VHS ビデオなどのアナログソースを入力し、超解像処理を加えて出力するとチラツキが強調される

・VHSビデオなどのアナログソースの場合は映像に多少のノイズが入っていますので、そのノイズが強調されてしまい、結果チラツキが強く現れる場合があります。

●ハイブリッドレコーダー 1 台で編集する際、乱れた映像が表示されますが故障ですか？

・ループ接続による副作用(ハウリング)ですので故障ではありません。再生スタートと同時に正常な映像に戻ります。

●地デジチューナー内蔵ハイブリッドレコーダーで、取扱説明書通りに接続しても編集ができない（外部入力に切り換えても映像が表示されない）

・地デジチューナー内蔵ハイブリッドレコーダーの録画方式をデジタルハイビジョン方式（TS方式/AVCREC方式/DR方式）に設定していると、レコーダーがアナログ入力を受け付けない場合があります。アナログ標準録画方式（VR方式）に切り替えてご使用ください。

●ハイブリッドレコーダー１台での編集が出来ない

・**37**ページをご参照ください。

●超解像処理を加えると映像が荒くなる

・映像ソースの画質や映像出力設定(**20**ページ参照)によっては映像が荒くなる場合があります。超解像設定は適切に使用してください。

Q & A

Q. 映像信号が入力されると録画が開始される録画機器でタイマー録画をおこなうには？

A. オートパワー機能をONに設定してください(**24**ページ参照)。

Q. レンタルビデオや経年劣化したビデオ(共にVHS)を編集する際の注意点は？

A. レンタルビデオは再生する頻度が高く、テープ自体が劣化（傷んでいる）可能性がありますので、経年劣化したテープと同様に本機では補正しきれない場合があります。補正できないときは、映像にノイズが現れたり映像が乱れたりします。
また、本機の超解像処理機能を使用することでノイズが強調されてしまう場合もあります。

Q. 本機に接続した再生機器及び録画機器の操作方法は？

A. 各機器に付属している取扱説明書を参照するか、各機器の製造メーカーのサービスセンターにお問い合わせください。

Q. リモコンの電池交換時期は？

A. 使用頻度により交換時期が異なります。明らかに反応が悪くなったときが交換時期です。

Q. 地上デジタル放送などの左右／上下黒帯表示(サイドパネル表示／レターボックス表示)を削除することはできますか？

A. 映像の合成やカットなどの加工は一切できません。

Q. 本機を使用しないときはACアダプターを外したほうが良いですか？

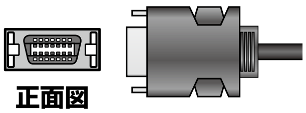
A. 長期間使用しない場合はACアダプターを外しておいてください。通常の使用状況ではACアダプターを接続したまま電源を切っておいてください。

使用できるケーブルの種類

本機と再生機器／録画機器／テレビを接続するために必要な端子例です。

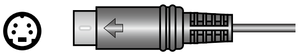
● D 端子：映像用

映像接続用の端子です。S 端子と比べ、さらに高画質な映像を楽しめます。（別途ご用意ください）



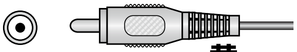
● S 端子：映像用

映像接続用の端子です。ピン端子と比べ、より高画質な映像を楽しめます。（1 本同梱されています）



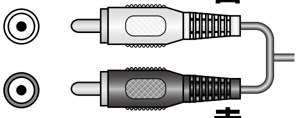
●ピン端子（黄）：映像用

映像接続用の端子です。（1 本同梱されています）

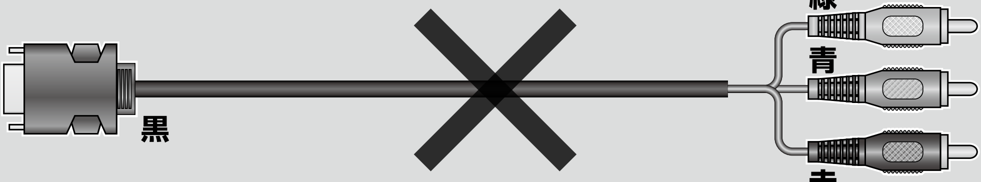


●ピン端子（赤・白）：音声用

音声接続用の端子です。**赤→右音声**･**白→左音声**に対応しています。（1 セット同梱されています）



⚠ D端子←→コンポーネント変換ケーブルは使用できません。



用語説明

●アルファベット

1080i	デジタルテレビ放送の映像信号形式の 1 つで、有効走査線 1080 本（総走査線 1125 本）、フレーム周波数 29.97Hzの飛び越し走査（インターレーススキャン）方式の映像のこと。
3D ノイズリダクション(ノイズ低減)	動きのある映像部分を 2D ノイズ除去処理、動きの少ない映像部分を 3D ノイズ除去処理することで、残像現象を抑えつつクリアな映像に補正する機能。
480i	デジタルテレビ放送の映像信号形式の 1 つで、有効走査線 480 本（総走査線 525 本）、フレーム周波数 29.97Hzの飛び越し走査（インターレーススキャン）方式の映像のこと。
480p	デジタルテレビ放送の映像信号形式の 1 つで、有効走査線 480 本（総走査線 525 本）、フレーム周波数 59.94Hzの順次走査（プログレッシブスキャン）方式の映像のこと。
720p	デジタルテレビ放送の映像信号形式の 1 つで、有効走査線 720 本（総走査線 750 本）、フレーム周波数 59.94Hzの順次走査（プログレッシブスキャン）方式の映像のこと。
AGC	オートゲインコントロールの略。電子回路の一種で、入力信号のレベルの大小にかかわらず出力を常に一定に保つための補助回路のこと。
D端子	映像を構成しているRGBの色情報を色信号Y、そしてR-YとB-Yという 2 つの色差信号、合計３つの信号で伝送することで高画質を実現した映像端子。
DVD プレーヤー	DVD-Video(ディーブイディービデオ）を再生する装置。再生専用機のこと。
DVD レコーダー	記録型DVDに動画などを記録できる装置のこと。ハードディスクを内蔵しているタイプが主流。
DVD	Digital Versatile Disc（デジタルバーサタイルディスク）の略。
DVD-R	DVD Recordable Discの通称。1 回記録型DVDフォーマット。DVD-Rで記録されたディスクは、一般的なDVD-VideoやDVD-ROMドライブで再生出来る可能性が最も高い。
ID-1	映像信号に特殊な識別信号を重畳させる機能。
NTSC	National Television System Committee(全米テレビジョン放送方式標準化委員会）が策定したアナログテレビジョン放送標準方式のこと。採用国はアメリカ、カナダ、メキシコ、日本、台湾、韓国、フィリピン、中南米諸国の一部、太平洋諸島の一部など。

●五十音

アップコンバート	DVDビデオなどの低解像度映像をハイビジョン並みの高解像度映像に変換する機能。
インターレース	テレビの走査方式の一つで、画面表示を走査線の奇数段と偶数段の 2 回に分けて行う（飛び越し走査）方式のこと。滑らかな動きに強いが、チラつきが目立つことがある。

カラーバー	映像システムを評価するための基準となる信号である。モニタ上では色のついた棒状の領域として表示されるため、この名称で呼ばれる。
コンポジット(信号)	映像を構成する輝度信号、色信号、同期信号を合成して、1 本のケーブルで扱えるようにした信号。ピン端子(RCA端子)で送ることができ、伝送品質は標準画質(SD画質)のみ。
コンポーネント(D端子)信号	RGBの 3 原色信号、輝度信号、色信号などが分離した状態にある信号。伝送路が3本必要となるが、コンポジット信号に比べて画質的には有利。
シャープネス	画像の輪郭などを強調する処理のこと。輪郭部分の階調の差(コントラスト)を高くすることで、見た目のシャープ感を増すことができる。
水平解像度(解像度)	どの程度細かな線が判別できるかを表し、この値が大きいほど高画質となる。
スクイーズ	画面アスペクト比が横長の映像を横幅の狭い伝送系(放送チャンネル、記録メディアなど)で送るために映像を横方向に縮小すること。
セパレート信号	コンポジット映像信号を、輝度信号と色信号の 2 系統に分離(Separate)している信号。S端子で伝送できる。
セレクター	複数接続してある再生機器の切り替え(選択)をおこなう装置。
超解像	低解像度映像ををアップコンバートしたときに見られるぼやけやエッジの粗さを改善し、見た目の解像度を向上させる機能
ハイビジョン画質	デジタル放送の画像方式で、走査線(テレビ画面を水平に走る線)が大幅に増えており、臨場感あふれる高精細画像を楽しめる。日本国内では、走査線が 750 本の映像が「ハイビジョン」、1125 本の映像が「フルハイビジョン」の愛称で呼ばれている。
ハイブリッドレコーダー	DVDとハードディスクなど、2 つ以上の記録装置を内蔵したビデオレコーダー。
パワーガード機能	本機の機能の 1 つ。パワー ON中に万が一停電しても、停電復旧後自動的にパワーがONになる。
ピン端子	映像・音響機器などで広く使われている電気信号をやりとりする端子。
メモリーガード機能	本機の機能の 1 つ。電源の供給を遮断しても設定値がクリアされない。
レターボックス	映像メディアの表示画面において他の画面サイズ規格でつぶれて表示されないよう、表示互換性をとるために本来の（横長比率の映像の）撮影された映像部分の上限・下限部に黒帯を追加した状態のもの。
ワイド信号	S1/S2/ID-1 など、4：3 と 16：9 の映像を識別する信号。

PROSPEC

PROSPEC 株式会社プロスペック

〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-18-2　TEL.03-5369-2791

検査・修理のお問い合わせは

倉敷支社（月～金曜日 AM10:00～ PM12:00 PM1:00～ PM5:30 土日祝祭日を除く）

〒712-8061 岡山県倉敷市神田 1-1-11　TEL.086-445-1509

※出張による修理や設置サービス等はおこなっていません。※コレクトコールによるお問い合わせは受付致しかねます。

HomepageURL http://www.prospec.co.jp/

ご注意：当社に無断で当取扱説明書の内容、図、写真の全部または一部の複製（コピー）・転用・転載を禁じます。

DVE795-1012-AN-KO-5100